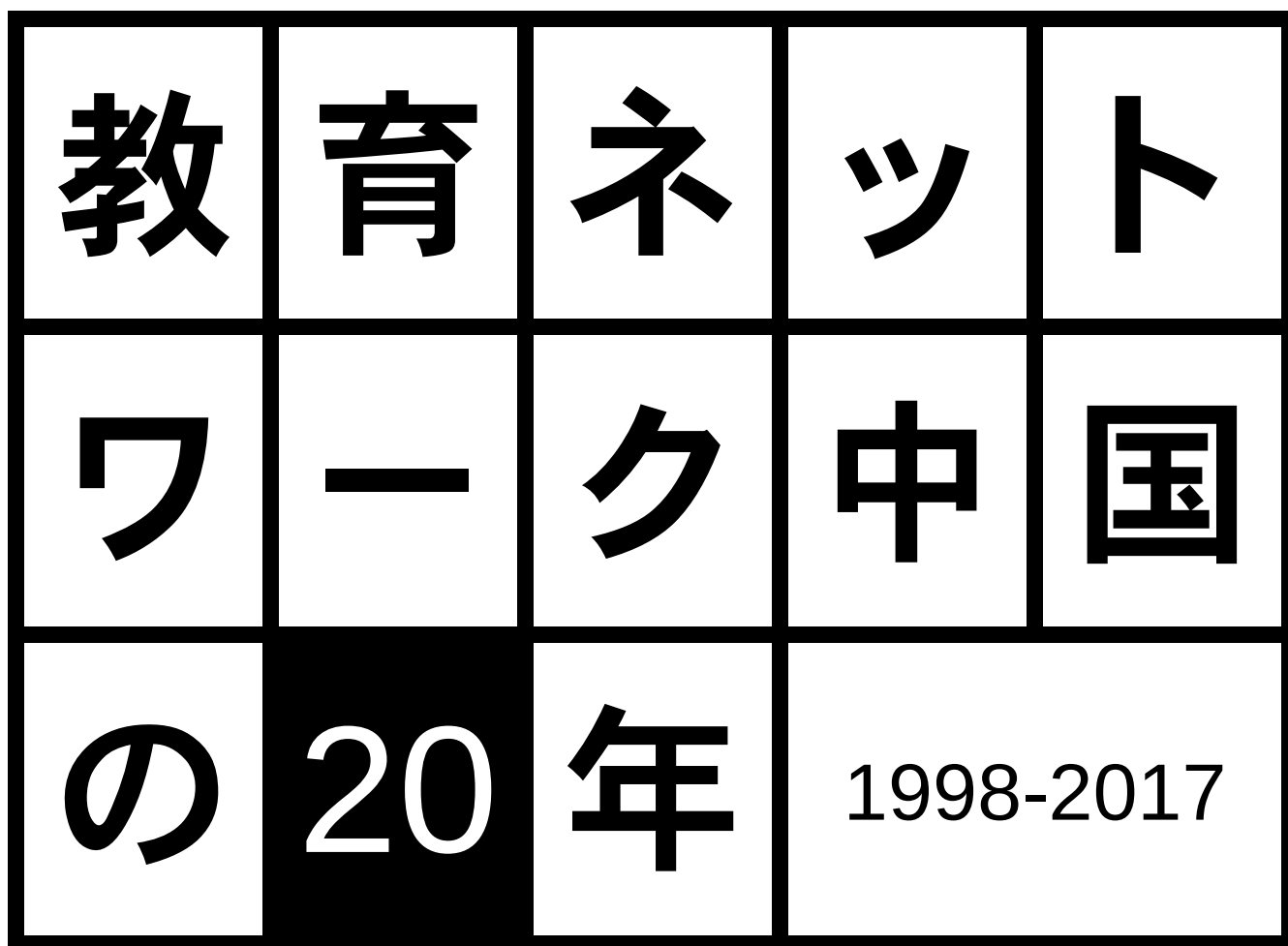




加盟会員 32 (22 大学、1 高専、5 短期大学、4 団体)

正 会 員 (24 校・4 教育団体)

エリザベト音楽大学 / 近畿大学工学部 / 県立広島大学 / 山陽女子短期大学 / 比治山大学 / 比治山大学短期大学部 / 広島経済大学 / 広島工業大学 / 広島国際学院大学 / 広島国際学院大学自動車短期大学部 / 広島国際大学 / 広島修道大学 / 広島女学院大学 / 広島市立大学 / 広島大学 / 広島文化学園大学 / 広島文化学園短期大学 / 広島文教女子大学 / 安田女子大学 / 安田女子短期大学 / 呉工業高等専門学校 / 島根県立大学 / 日本赤十字広島看護大学 / 広島都市学園大学 / 広島県私立中学高等学校協会 / 広島県教育委員会 / 広島市教育委員会 / 呉市教育委員会 /

準 会 員 (4 校)

尾道市立大学 / 福山市立大学 / 福山大学 / 福山平成大学 /

賛助会員 62

紀伊國屋書店(中四国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協中国・四国事業連合 / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中四国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルートマーケティングパートナーズ / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 熊平製作所 / 合同総研 / 広島リバーサイドホテル / 丸善雄松堂(広島支店) / 広島市信用組合 / 日建設計(中国支所) / 大日本印刷(情報イノベーション事業部中四国営業本部) / 西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトブキシーティング(中四国支店) / 近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店) / SMBC 日興証券広島支店法人部法人課 / 広島管財 / アボアエンジニアリング / 呉信用金庫 / 中国電設工業 / A・I・C 広島マネジメントシェラトングランドホテル広島 / ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校 / オオケン / レタープレス / ムロオシステムズ / 山菊印刷 / ワイテック / むさし / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN 事業部) / 中国放送 / マイティネット / パナソニック システムソリューションズ ジャパン / アンデルセン・パン生活文化研究所 / SCSK / 広告社(広島支社) / ゼネラルスチール / 三菱地所設計(広島事務所) / JTB 中国四国(広島支店) / 岡村製作所(広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コクヨマーケティング(中国支社) / 酔心 / 田中電機工業 / アスティ / 大方工業所 /

I. 役員等一組織を支えた人たちー

代表幹事

1998	1999～2010
川崎 尚 広島工業大学	市川太一 広島修道大学

代表理事 (2011. 4. 1 一般社団法人登記)

2011. 4～2013. 6	2013. 6～2017. 6	2017. 6～
市川 太一 広島修道大学	川野 祐二 エリザベト音楽大学	焼廣 益秀 広島国際大学

副代表幹事

1998	1999	2000
今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 市川 太一 広島修道大学 河野 眞 安田女子大学	今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 紀 隆雄 広島国際学院大学 河野 眞 安田女子大学	今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 紀 隆雄 広島国際学院大学 藤本 黎時 広島市立大学 河野 眞 安田女子大学
2001	2002	2003
今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 櫻井 春輔 広島工業大学 藤本 黎時 広島市立大学 河野 眞 安田女子大学	今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 櫻井 春輔 広島工業大学 兒玉 正憲 広島修道大学 藤本 黎時 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学 河野 眞 安田女子大学・同短期大学	今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 兒玉 正憲 広島修道大学 藤本 黎時 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学 五十嵐二郎 広島文教女子大学 河野 眞 安田女子大学・同短期大学
2003	2004	2005
今永 清二 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 兒玉 正憲 広島修道大学 藤本 黎時 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学 五十嵐二郎 広島文教女子大学 河野 眞 安田女子大学・同短期大学	草野 敬久 県立広島女子大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 兒玉 正憲 広島修道大学 西垣 二一 広島女学院大学 藤本 黎時 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学	赤岡 功 県立広島大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 兒玉 正憲 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 藤本 黎時 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学 坂田 正二 広島文化学園大学・同短期大学 八川 有人 広島県私立中学・高等学校長協会
2006	2007	2008
赤岡 功 県立広島大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 川本 明人 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 牟田 泰三 広島大学 武田 哲司 武田学園 坂田 正二 広島文化学園大学・同短期大学 岡本 茂信 広島市教育委員会 八川 有人 広島県私立中学・高等学校長協会	赤岡 功 県立広島大学 兒玉 正昭 鈴峯女子短期大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 石田 恒夫 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 川本 明人 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 武田 哲司 武田学園 坂田 正二 広島文化学園大学・同短期大学 岡本 茂信 広島市教育委員会 李 聖一 広島県私立中学・高等学校長協会	赤岡 功 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 前川 功一 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 森永 規彦 広島国際大学 川本 明人 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 武田 哲司 武田学園 吉野 昌昭 安田女子大学・同短期大学 岡本 茂信 広島市教育委員会 李 聖一 広島県私立中学・高等学校長協会
2009	2010	
赤岡 功 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 前川 功一 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 森永 規彦 広島国際大学 川本 明人 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 武田 哲司 武田学園 吉野 昌昭 安田女子大学・同短期大学 濱本 康男 広島市教育委員会 李 聖一 広島県私立中学・高等学校長協会	川野 祐二 エリザベト音楽大学 正岡 稔民 鈴峯女子短期大学 赤岡 功 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学 前川 功一 広島経済大学 茂里 一紘 広島工業大学 森永 規彦 広島国際大学 川本 明人 広島修道大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 濱本 康男 広島市教育委員会 李 聖一 広島県私立中学・高等学校長協会	

理事（2011. 4. 1 一般社団法人登記）

2011. 4～	2012. 6～	2013. 6～
川野 祐二 エリザベト音楽大学 正岡 稔民 鈴峯女子短期大学 赤岡 功 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 森永 規彦 広島国際大学 今田 寛 広島女学院大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 尾形 完治 広島県教育委員会 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会	川野 祐二 エリザベト音楽大学 正岡 稔民 鈴峯女子短期大学 赤岡 功 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 秋山 寛利 広島国際大学 浅田 尚紀 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会	中村 健一 県立広島大学 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 秋山 寛利 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 長尾ひろみ 広島女学院大学 青木 信之 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会
2014. 6～	2015. 6～	2016. 6～
中村 健一 県立広島大学 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 秋山 寛利 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 湊 晶子 広島女学院大学 青木 信之 広島市立大学 浅原 利正 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会	中村 健一 県立広島大学 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 秋山 寛利 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 湊 晶子 広島女学院大学 青木 信之 広島市立大学 越智 光夫 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 小山眞里子 広島赤十字広島看護大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会	中村 健一 県立広島大学 前川 功一 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 焼廣 益秀 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 湊 晶子 広島女学院大学 青木 信之 広島市立大学 越智 光夫 広島大学 角重 始 広島文教女子大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 小山眞里子 広島赤十字広島看護大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学 田原 俊典 広島県私立中学・高等学校長協会
2017. 6～		
川野 祐二 エリザベト音楽大学 野村 正人 近畿大学工学部 中村 健一 県立広島大学 小谷 幸生 広島経済大学 鶴 衛 広島工業大学 市川 太一 広島修道大学 湊 晶子 広島女学院大学 青木 信之 広島市立大学 越智 光夫 広島大学 田中 宏二 広島文化学園大学・同短期大学 瀬山 敏雄 安田女子大学・同短期大学 小山眞里子 広島赤十字広島看護大学 河野 修興 広島都市学園大学		

会計監査

1998	1999	2000～2002
	石田 米孝 山陽女子短期大学 五十嵐二郎 広島文教女子大学	八木 博克 広島中央女子短期大学 五十嵐二郎 広島文教女子大学
2003	2004	2005
ローレンス・マカレル エリザベト音楽大学 西垣 二一 広島女学院大学	ローレンス・マカレル エリザベト音楽大学 葉佐井博巳 広島国際学院大学	中村 英昭 エリザベト音楽大学 高木 孝子 ノートルダム清心女子大学
2006	2007～2009	2010
中村 英昭 エリザベト音楽大学 高木 孝子 ノートルダム清心女子大学 堀 久真 呉市教育委員会	中村 英昭 エリザベト音楽大学 高木 孝子 ノートルダム清心女子大学 長谷川 晃 呉市教育委員会	高木 孝子 ノートルダム清心女子大学 長尾ひろみ 広島女学院大学 堀 久真 呉市教育委員会

監事（2011. 4. 1 一般社団法人登記）

2011. 4～	2012. 6～	2013. 6～2014. 6
高木 孝子 ノートルダム清心女子大学 長尾ひろみ 広島女学院大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学	長尾ひろみ 広島女学院大学 古澤 敏昭 広島都市学園大学	京極 秀樹 近畿大学工学部 朝倉 尚 鈴峯女子短期大学
2015. 6～2016. 6	2017. 6～	
野村 正人 近畿大学工学部 岡 隆光 広島文化学園大学・同短期大学	石井 眞治 比治山大学・同短期大学部 李木 経孝 広島国際学院大学・同短期大学部 森下 要治 広島文教女子大学	

単位互換・生涯学習検討委員会委員長

1998～2001
森川 泉 広島修道大学

総合委員会委員長（※単位互換・生涯学習検討委員会から移行）

2002～2003	2004
森川 泉 広島修道大学	岡本 貞雄 広島経済大学

運営委員会委員（※総合委員会から移行）

2005	2006	2007
市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 柳瀬 陽介 広島大学 仲井 正美 事務局長	市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 藤井 保 県立広島大学 高橋 超 比治山大学 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 仲井 正美 事務局長	市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 藤井 保 県立広島大学 高橋 超 比治山大学 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 落合 功 広島修道大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 上原 浩二 事務局長
2008	2009	2010
市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 藤井 保 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 後藤 寛 広島国際大学 落合 功 広島修道大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 上原 浩二 事務局長	市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 藤井 保 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 後藤 寛 広島国際大学 落合 功 広島修道大学 中田美喜子 広島女学院大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 上原 浩二 事務局長	市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 藤井 保 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 後藤 寛 広島国際大学 遠藤 敏郎 広島国際学院大学・同短期大学部 宇野 伸浩 広島修道大学 中田美喜子 広島女学院大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 上原 浩二 事務局長
2011	2012	2013
市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 秋山 伸隆 県立広島大学 高橋 超 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 ジョージ・R・ハラダ 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 後藤 寛 広島国際大学 遠藤 敏郎 広島国際学院大学・同短期大学部 宇野 伸浩 広島修道大学 中田美喜子 広島女学院大学 柳瀬 陽介 広島大学 穂垣 由恵 広島文教女子大学 上原 浩二 事務局長	市川 太一 広島修道大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学 秋山 伸隆 県立広島大学 竹迫 晴絵 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 焼廣 益秀 広島国際大学 遠藤 敏郎 広島国際学院大学・同短期大学部 石井 三恵 広島女学院大学 柳瀬 陽介 広島大学 上原 浩二 事務局長	川野 祐二 エリザベト音楽大学・委員長 西本 寮子 県立広島大学 竹迫 晴絵 比治山大学・同短期大学部 岡本 貞雄 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 焼廣 益秀 広島国際大学 遠藤 敏郎 広島国際学院大学・同短期大学部 市川 太一 広島修道大学 篠原 收 広島女学院大学 柳瀬 陽介 広島大学 松永 有三 安田女子大学・同短期大学 上原 浩二 事務局長
2014	2015	2016
川野 祐二 エリザベト音楽大学・委員長 西本 寮子 県立広島大学 竹迫 晴絵 比治山大学・同短期大学部 志々田まなみ 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 長坂 康史 広島工業大学 焼廣 益秀 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 矢田部順二 広島修道大学 金田 文雄 広島女学院大学 岩井 千秋 広島市立大学 岡本 修治 広島大学 松永 有三 安田女子大学・同短期大学 玉理 英治 事務局長	川野 祐二 エリザベト音楽大学・委員長 西本 寮子 県立広島大学 迫垣内 裕 比治山大学・同短期大学部 志々田まなみ 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 長坂 康史 広島工業大学 焼廣 益秀 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 矢田部順二 広島修道大学 金田 文雄 広島女学院大学 前川 義春 広島市立大学 岡本 修治 広島大学 松永 有三 安田女子大学・同短期大学 平松 立美 事務局長	川野 祐二 エリザベト音楽大学・委員長 馬本 勉 県立広島大学 迫垣内 裕 比治山大学・同短期大学部 志々田まなみ 広島経済大学 福田由美子 広島工業大学 長坂 康史 広島工業大学 笹川 紀夫 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 矢田部順二 広島修道大学 桐木 建始 広島女学院大学 前川 義春 広島市立大学 原 義孝 広島大学 染岡 慎一 安田女子大学・同短期大学 平松 立美 事務局長

2017		
焼廣 益秀 広島国際大学・委員長 川野 祐二 エリザベト音楽大学・委員長 馬本 勉 県立広島大学 林 武広 比治山大学・同短期大学部 細井 謙一 広島経済大学 長坂 康史 広島工業大学 猫島 幹爾 広島工業大学 笹川 紀夫 広島国際大学 市川 太一 広島修道大学 桐木 建始 広島女学院大学 前川 義春 広島市立大学 原 義孝 広島大学 植田 智 広島文教女子大学 染岡 慎一 安田女子大学・同短期大学 平松 立美 事務局長		

高大連携委員会委員長（2014 から大学間・高大連携委員会へ移行）

2005～2013
岡本 貞雄 広島経済大学

教学委員会委員長（※教学協力委員会から移行・2014 から大学間・高大連携委員会へ移行）

2005～2013
川野 祐二 エリザベト音楽大学

大学間・高大連携委員会委員長（※教学委員会・高大連携委員会から移行）

2014～2015	2016	2017
西本 寮子 県立広島大学	志々田まなみ 広島経済大学	馬本 勉 県立広島大学

遠隔授業検討委員会委員長（2014 年から IC カード学生証委員会へ移行）

2003～2006	2007～2013
廣光清次郎 広島修道大学	中田美喜子 広島女学院大学

IC カード学生証委員会委員長（ICT 活用検討委員会へ移行）

2003～2013
長坂 康史 広島工業大学

ICT 活用検討委員会（※遠隔授業検討委員会・IC カード学生証委員会から移行）

2014～2017
長坂 康史 広島工業大学

共同事務開発委員会委員長

2004～2009
平松立美 広島修道大学

教員免許状更新講習実施委員会

2009
川野 祐二 エリザベト音楽大学

研修委員会委員長

2007～2012	2013～2016	2017
後藤 寛 広島国際大学	矢田部順二 広島修道大学	向田一郎 広島国際大学

事務局長

1998～1999	2000～2006. 10	2006. 11～2013
上森 喬一（広島県教育事業団）	仲井 正美	上原 浩二
2014	2015～	
玉理 英治 広島女学院大学（出向）	平松 立美	

Ⅱ. 単位互換事業

自大学に開催されていない科目や学びたい他大学の教員の科目を受講することを目的としている。

単位互換協定を締結した大学・短期大学等（以下、大学）に所属する学生が、他大学の授業を受講して修得した単位を、自大学の単位として認定できるようにしたもの。

加盟校はそれぞれ特色ある科目を開講している。広島に関する科目、海外現地研修のある科目（広島県補助事業）、宿泊型の集中科目、フィールドワークを実施する科目、教職科目などがある。

1. 大学・短期大学の単位互換

（１）経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を開始。

2000年度から「ボランティア活動」（マツダ財団寄付講義）を開始。

2003年度から大学院単位互換を9大学14研究科30専攻が参加して開始。

2004年度から「ボランティア参画論」（広島教育委員会・広島ガス寄付講義）を開始（～2008年）。

2005年度から教職課程科目の提供を開始。

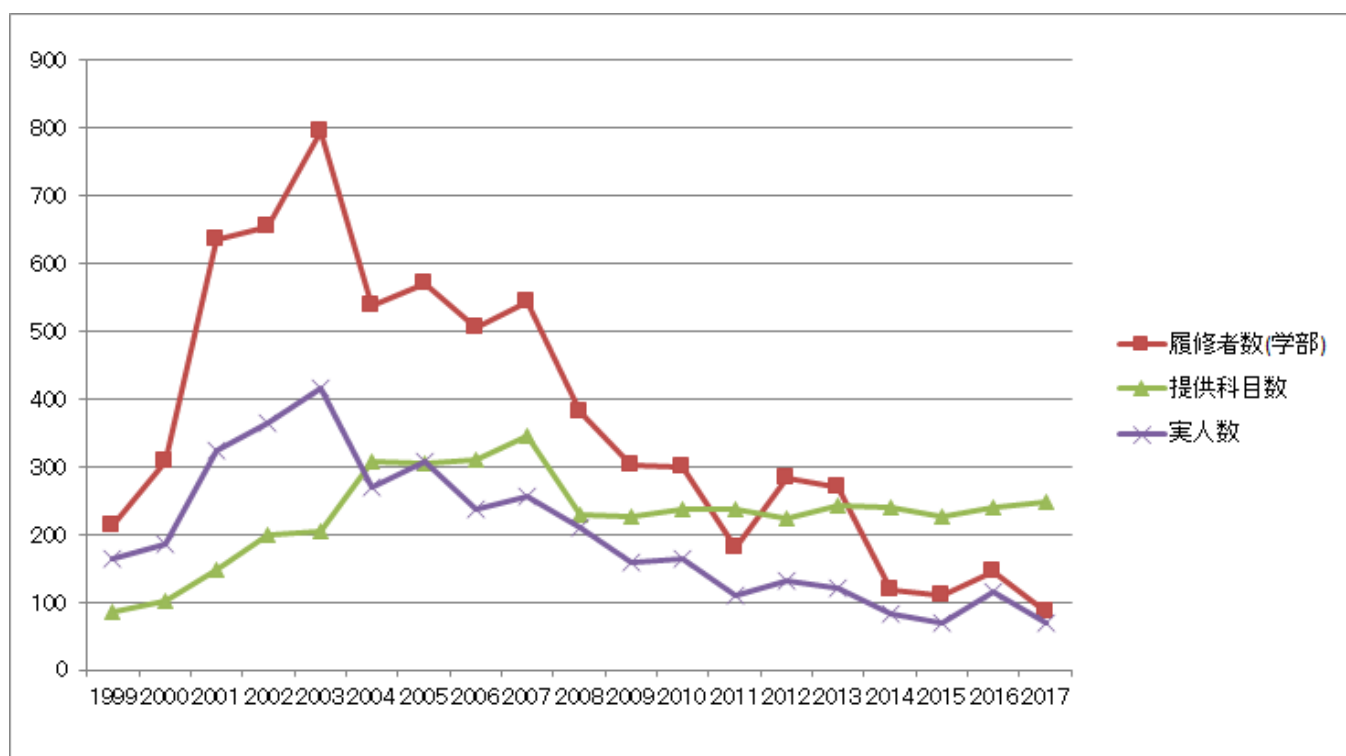
2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」（中国新聞社寄付講義）を開始。

2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を開始。

2010年度から後期提供科目の追加募集を開始。

2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

（２）学部単位互換履修者数・提供科目数の推移



（３）寄付講義

■マツダ財団寄付講義

開講年度	開設大学	科目名
2000年・2001年	広島修道大学	人間科学特論演習 03（ボランティア活動）
2002年・2003年	広島国際学院大学	国際協力（ボランティア活動）
2004年・2005年	比治山大学	世界と共に生きる（ボランティア活動）
2006年・2007年	エリザベト音楽大学	人間学Ⅵ-1（ボランティア活動）
2008年・2009年	広島文教女子大学	国際協力論（ボランティア活動）
2010年・2011年	県立広島大学	ボランティア活動
2012年・2013年	広島女学院大学	特別講義Ⅰa ボランティア活動論
2014年・2015年	安田女子大学	現代社会と人間Ⅱ《ボランティア活動》
2016年・2017年	広島修道大学	キャリア形成特殊講義（ボランティア活動）

■広島県教育委員会寄付講義

開講年度	開設大学	科目名
2004 年～2008 年	広島経済大学	ボランティア参画論

■中国新聞社寄付講義

開講年度	開設大学	科目名
2008 年・2009 年	比治山大学	現代マスコミ論Ⅱ
2010 年・2011 年	広島経済大学	メディアビジネス特論
2012 年・2013 年	広島国際大学	人間と現代社会Ⅱ
2014 年・2015 年	県立広島大学	地域情報発信論
2016 年・2017 年	広島大学	現代社会と新聞《～読もう、一緒に考えよう～》

(4) サテライト科目

開講年度	開設大学	科目名
2013 年度	エリザベト音楽大学	人間学Ⅶ-2《英語で学ぶ広島学 Hiroshima studies in English》
		音楽史Ⅳ《英語による音楽史 Music History in English》
	県立広島大学	日本地域史論特論《戦国合戦論》
		運動学概論《バイオメカニクス》
		地域文化学（宮島学）
		芸能文化論
		発声発語・嚥下系障害学概論Ⅱ 音発語・嚥下系障害学演習Ⅱ 《嚥下障害学-「食べる・飲み込む」とリハビリテーションを科学する-》
	鈴峯女子短期大学	自然観察《感性を育てる教育》
		食品衛生学《おいしい広島カキを安全に食べよう》
		Kids' English Basics《幼児英語指導の基礎》
	比治山大学	異文化を知る
	広島経済大学	経営実践《ショップの模擬経営体験をする》
	広島国際大学	医療経営概論
	広島修道大学	国際政治基礎(身近な事例で考える国際関係論)
	広島女学院大学	特別講義Ⅰa(高大連携による留学支援講座)※
		西洋美術史
	広島市立大学	企業活動とプロジェクトマネジメント 《グローバル・プロジェクト・マネジメント》※
	広島文化学園大学	食と健康
	広島文教女子大学	漢字文化圏論
	安田女子大学	現代のビジネスA《グローバル人材育成》※

開講年度	開設大学	科目名
2014 年度	エリザベト音楽大学	人間学Ⅳ-1《厳島神社とモン・サン=ミッシェル-2つの世界遺産-》
		音楽史Ⅲ《英語による音楽史 Music History in English》
		人間学Ⅶ-2《英語で学ぶ広島学 Hiroshima studies in English》
	県立広島大学	運動学概論《バイオメカニクス》
		地域文化学《宮島学》
		芸能文化論
		発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ《嚥下障害学-「食べる・飲み込む」 のリハビリテーションを科学する》
		日本地域史論特論《戦国合戦論》
		大学連携特別講座
	比治山大学短期大学部	ビジュアル表現Ⅱ(マンガ・キャラクター)
	広島経済大学	「国際協力・貢献の視点」を含むグローバル人材育成
	広島工業大学	学外研修(グローバル化時代のものづくり技術者像)※
	広島国際大学	医療経営概論
	広島女学院大学	特別講義Ⅰa(高大連携による留学支援講座)
	広島市立大学	企業活動とプロジェクトマネジメント 《グローバル・プロジェクト・マネジメント》※
	広島文化学園大学	家族社会学
		産業社会研究Ⅰ《グローバル社会で活躍できる人材育成》※
	広島文教女子大学	漢字文化圏論
	安田女子大学	現代のビジネスA《グローバル人材育成》※

※広島県補助事業「大学連携による新たな教育プログラム」

開講年度	開設大学	科目名
2015 年度	エリザベト音楽大学	音楽史Ⅲ《英語による音楽史 Music History in English》
		人間学Ⅴ-2《英語で学ぶ広島学 Hiroshima studies in English》
	県立広島大学	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ 《嚥下障害学―「食べる・飲み込む」のリハビリテーションを科学する》
		芸能文化論
		運動学概論《バイオメカニクス》
		地域情報発信論《中国新聞寄付講座》 [旧科目名：人間と現代社会Ⅱ（広島国際大学）]
		日本地域史論特論《戦国合戦論》
	広島経済大学	「国際協力・貢献の視点」を含むグローバル人材育成 ※
	広島工業大学	学外研修（グローバル化時代のものづくり技術者像）※
	広島国際大学	医療経営概論
	広島修道大学	B群特殊講義（グローバル人材育成と地域企業） 《日伊の食に関わる企業を通して学ぶ人材育成》※
	広島市立大学	企業活動とプロジェクトマネジメント 《グローバル・プロジェクト・マネジメント》※
	広島文化学園大学	現代アジアを知る ―チャイナ・プラス・ワン（China plus one）に対応し、グローバル化する世界で活躍する人材育成のためのプログラム―※

開講年度	開設大学	科目名
2016 年度	エリザベト音楽大学	人間学Ⅴ-2《英語で学ぶ広島学》
		音楽史Ⅲ《英語による音楽史》
	県立広島大学	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ 《嚥下障害学―「食べる・飲み込む」のリハビリテーションを科学する》
		運動学概論《バイオメカニクス》
	広島経済大学	「国際協力・貢献の視点」を含むグローバル人材育成 ※
	広島工業大学	学外研修（グローバル化時代のものづくり技術者像）※
	広島国際大学	医療経営概論
	広島修道大学	キャリア形成特殊講義（ボランティア活動）《マツダ財団寄付講義》
		B群特殊講義（グローバル人材育成と地域企業）※
	広島文化学園大学	現代アジアを知る ―チャイナ・プラス・ワン（China plus one）に対応し、グローバル化する世界で活躍する人材育成のためのプログラム―※
	広島文教女子大学	漢字文化圏論

開講年度	開設大学	科目名
2017 年度	エリザベト音楽大学	人間学Ⅴ-2《英語で学ぶ広島学》
		音楽史Ⅲ《英語による音楽史》
	県立広島大学	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ《摂食嚥下障害とそのリハビリテーション》
		運動学概論《バイオメカニクス》
	広島経済大学	持続可能性とイノベーション※
	広島工業大学	学外研修（グローバル化時代のものづくり技術者像） 《ユーザ体験時代の発信力》
	広島国際大学	医療経営概論
	広島修道大学	キャリア形成特殊講義（ボランティア活動）《マツダ財団寄付講義》
		プロジェクトマネジメント論 《企業活動とプロジェクトマネジメント論》※
		B群特殊講義（グローバル人材育成と地域企業）※
	広島文化学園大学	産業社会研究 （「日越の『食』と『農』をめぐる文化とビジネスの展開」）※
	広島文教女子大学	漢字文化圏論

※広島県補助事業「大学連携による新たな教育プログラム」

（５）広域型単位互換

他地域のコンソーシアムに加盟する大学の科目を相互に提供し合い、地域間の教育と学生の交流を図ることを目的として、南大阪地域大学コンソーシアムと「広域型単位互換」を開始（2009年度～）。南大阪地域大学コンソーシアムの羽衣国際大学から「キャリアと社会《社会の中で自分を生かす方法》」が提供され、教育ネットワーク中国は広島経済大学の「広島を学ぶ《ヒロシマを歩いて考える》」を提供。

■羽衣国際大学 キャリアと社会《社会の中で自分を生かす方法》

開講年度	単位履修者（所属大学）
2009年度	エリザベト音楽大学2人、広島修道大学2人
2010年度	県立広島大学1人、比治山大学1人、広島経済大学1人、広島市立大学1人、呉工業高等専門学校5人
2011年度	県立広島大学2人、広島経済大学1人、広島市立大学5人、呉工業高等専門学校3人
2012年度	比治山大学1人
2014年度	広島経済大学1人
2015年度	広島経済大学1人、呉工業高等専門学校2人
2017年度	呉工業高等専門学校1人

■広島経済大学 広島を学ぶ《ヒロシマを歩いて考える》

開講年度	単位履修者（所属大学）
2009年度	羽衣国際大学2人
2010年度	大阪府立大学1人
2011年度	桃山学院大学3人、大阪府立大学1人、和歌山大学1人
2012年度	桃山学院大学6人
2013年度	桃山学院大学11人、近畿大学1人
2014年度	桃山学院大学4人
2015年度	桃山学院大学5人
2016年度	桃山学院大学52人
2017年度	桃山学院大学5人

2. 大学院の単位互換

（１）経緯

2002年11月21日、大学院単位互換制度意見交換会を開き、単位互換の実施方法について協議。

2003年4月1日から大学院単位互換事業を9大学院が参加して開始。

2007年4月1日から大学院生が学部の提供科目を履修開始。

2015年より休止。

（２）履修者数

2003年度	延べ4人	2004年度	延べ2人	2005年度	1人	2006年度	延べ2人	2007年度	延べ3人
2008年度	1人	2014年度	1人						

Ⅲ. 生涯学習事業

生涯学習事業は、1999 年度から開始し、多種多様な学習ニーズをもった社会人が、大学の提供する講座を受講できる機会を提供。

現在は広島市と連携して開講する講座「シティカレッジ」、サテライトキャンパスひろしまで開講する講座「サテライトカレッジ」、各大学キャンパスで開講する講座を開講。

それぞれの講座は「IC 受講証を活用したひろしまカレッジ」としても開講。

(1) 経緯

1999 年度から共同開催講座（～2006 年度）と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開催している。

2001 年度から広島県教育委員会と「ぱれっとカレッジ」（～2013 年度）を広島県立生涯学習センターにおいて開催。

2002 年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。

2003 年度から講座情報をホームページで公開。

2005 年度から公開講座「これからの教師像」、「キャリア支援のための資格講座」（～2006 年度）を開講。

2009 年度から「IC カードを活用したひろしまカレッジ」戦略的大学連携支援事業を開始。

「ぱれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、IC カード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン（講座情報）配信開始。

2010 年度からひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。

2011 年度から「PASPY・ひろぎん PASPY」をひろしまカレッジ受講証として利用開始。

2014 年度からサテライトキャンパスを会場とする「サテライトカレッジ」を開講。

2016 年度から地域の電子マネー「HIROCA（ヒロカ）」をひろしまカレッジ受講証として利用開始。

(2) 連携公開講座

■2003 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	105	163	492	38	798
延べ受講者数	1,242	669	1,322	38	3,271

①共同開催講座 1 (15) ②ぱれっとカレッジ 3 (15)
③シティカレッジ 9 (46) ④新聞の読み方講座 1 (1)
計 14 (77)

■2004 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	260	82	488	11	841
延べ受講者数	1,577	453	1,513	10	3,553

①共同開催講座 3 (20) ②ぱれっとカレッジ 3 (21)
③シティカレッジ 11 (59) ④新聞の読み方講座 1 (1)
計 18 (101)

■2005 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	53	78	832	255	1,218
延べ受講者数	336	406	2,637	1,446	4,825

①共同開催講座 1 (8) ②ぱれっとカレッジ 3 (20)
③シティカレッジ 15 (87) ④これからの教師像 2 (12)
キャリア支援講座 1 (30) 計 22 (157)

■2006 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	134	239	889	57	1,319
延べ受講者数	476	1,991	3,029	261	5,757

①共同開催講座 2 (8) ②ぱれっとカレッジ 3 (21)
③シティカレッジ 14 (76) ④これからの教師像 1 (6)
キャリア支援講座 1 (67) 計 21 (178)

■2007 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	40	246	867	45	1,198
延べ受講者数	86	1,401	2,843	225	4,555

①共同開催講座 1 (4) ②ぱれっとカレッジ 3 (18)
③シティカレッジ 16 (84) ④これからの教師像 1 (6)
計 21 (112)

■2008 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	計
登録者数	210	995	34	1,239
延べ受講者数	630	3,895	190	4,715

①ぱれっとカレッジ 2 (13)
②シティカレッジ 18 (95) ④これからの教師像 1 (6)
計 21 (114)

■2009 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	計
登録者数	77	980	133	1,576
延べ受講者数	220	3,299	501	4,406

①ぱれっとカレッジ 3 (14) ②シティカレッジ 17 (87)
③エニカカレッジ（これからの教師像 1 (5) 研修会 5
計 26 (111)

■2010 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	88	887	126	289	1,262
延べ受講者数	258	3,071	536	480	6,112

①ぱれっとカレッジ 3 (15) ②シティカレッジ 14 (74)
③エニカカレッジ（これからの教師像 1 (5) 広島と移民 1 (4)
研修会 6
④大学で開講する公開講座 13 (52) 計 38 (156)

■2011 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	59	744	84	217	958
延べ受講者数	280	2,756	288	208	5,510

①ぱれっとカレッジ 3 (15) ②シティカレッジ 16 (78)
③エニカカレッジ（これからの教師像 1 (4) 研修会 6
④大学で開講する公開講座 11 (39) 計 37 (136)

■2012 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③	④	計
登録者数	195	664	98	227	770
延べ受講者数	596	2,190	357	224	1,652

①ぱれっとカレッジ 2 (9) ②シティカレッジ 14 (63)
③エニカカレッジ（これからの教師像 1 (4) 研修会 6
④大学で開講する公開講座 12 (40) 計 35 (122)

■2013 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	197	489	84	244	1,005	2,019
延べ受講者数	560	1,639	404	242	2,319	5,164

- ①ばれっとカレッジ 3 (13)
 ②シティカレッジ 14 (68)
 ③エニカカレッジ これからの教師像 1 (6) 研修会 6
 ④大学で開講する公開講座 14 (53) 計 38 (146)

■2014 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	552	320	58	457	1,023	2,410
延べ受講者数	1,972	1,315	247	454	1,684	5,672

- ①シティカレッジ 12 (56)
 ②サテライトカレッジ 4 (32)
 ③エニカカレッジ これからの教師像 1 (5) 研修会 6
 ④大学で開講する公開講座 14 (44) 合計 37 (143)

■2015 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	551	500	119	595	1,518	3,283
延べ受講者数	1,641	1,734	540	590	2,451	6,956

- ①シティカレッジ 12 (52)
 ②サテライトカレッジ 9 (32)
 ③エニカカレッジ これからの教師像 1 (5) 研修会 6
 ④大学で開講する公開講座 15 (44) 合計 43 (139)

■2016 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	492	518	166	465	1,193	2,834
延べ受講者数	1,300	1,662	741	459	1,893	6,055

- ①シティカレッジ 11 (44)
 ②サテライトカレッジ 9 (53)
 ③エニカカレッジ これからの教師像 1 (5) 研修会 5
 ④大学で開講する公開講座 8 (24) 合計 34 (131)

■2017 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	535	347	141	527	1,539	3,089
延べ受講者数	1,438	1,495	624	514	2,229	6,300

- ①シティカレッジ 11 (44)
 ②サテライトカレッジ 8 (61)
 ③エニカカレッジ これからの教師像 1 (5) 研修会 6
 ④大学で開講する公開講座 12 (32) 合計 38 (148)

※講座名の後の数字は講座数、() 内はコマ数を表す。

■2017 年度の連携公開講座

講座名		
サテライトカレッジ	広島工業大学	安全で快適な建物造りと街創りを目指して —健康的で利便性が高く、災害に強い建物・街づくりとは—
	広島修道大学	初めてのチェコ語 初めてのチェコ語 2
	広島大学	芸術と老年 Arts and Aging
		バイテクノロジーってなあに？ 「バイオロジー（生物学）」と「テクノロジー（技術）」の合成語です。
		「ことば」を科学する
	広島文化学園大学	米食文化は健康と繋がる？
シティカレッジ	安田女子大学	過去の震災から学ぶリスクマネジメント
	近畿大学工学部	音楽についてのエッセイを英語で読もうⅡ： Susan Tomes, A Musician's Alphabet
	比治山大学	芸術の民衆生活と文化
	広島経済大学	ヨーロッパの諸相 —いま・むかし—
	広島工業大学	私たちの未来を拓く情報技術
	広島国際学院大学	異文化への視点Ⅱ
	広島国際大学	かしこい患者学シリーズⅡ
	広島女学院大学	健やかに生きるための食
	広島文化学園大学	幸せになるための家族支援
	広島文教女子大学	心理学における対人支援と“多様性”
	安田女子大学	臨床心理学から見る人間関係 - その2 -
	日本赤十字広島看護大学	ライフサイクルノートを描きながら自分の生きてきた証を辿ろう
大学で開講する公開講座	エリザベト音楽大学	わくわくエリザベト・オルガン探検隊！（おとなの部・こどもの部） ～パイプオルガンでのミニレッスン付き～
	広島経済大学	日本文学 日本の古典文学の名言・名場面〈乱世〉
	広島国際大学	『こころの時代』を生きる —中高生のこころと対応—
	広島修道大学	コーヒー都市“TAKENGON” —世界的な珈琲流行をスマトラ島アチェ州 GAYO 地域から考える
		チェコの歴史とクラシック音楽 ～チェコ人といえば音楽家だ（ツォ・チェフ・ト・ムジカント）～
		ドイツ文学 —ゲーテとシラー 森・オオカミ・ヒトの良い関係を考える

		“壁ドン”は暴力か？ ジェンダー化される身体と犯罪
		—臨床心理相談センター開設記念講座
		—「臨床心理学へのいざない」
		ダイナミックな変化の中にある交通
		—健康栄養学科開設記念講座—食べ物の機能性から健康を考える
エニカカレッジ	教育ネットワーク中国	ヨーロッパと〈記憶〉
		これからの教師像 2017
		教職員研修会

(3) キャリア支援のための資格取得講座

「医療事務講座」

委 託：ヒューマンアカデミー
期 間：2005 年 8 月 24 日～12 月 7 日
会 場：エリザベト音楽大学
受講料：62,000 円
受講者：11 人

「アシスタントブライダルプランナー2 級検定対策講座」

委 託：ヒューマンアカデミー
期 間：2006 年 7 月 10 日～9 月 21 日
会 場：エリザベト音楽大学
受講料：34,000 円
受講者：10 人

「宅地建物取引主任者スーパー合格講座」

委 託：LEC 東京リーガルマインド
期 間：2006 年 4 月 26 日～（計 33 回）
受講料：95,000 円
受講者：1 人

(4) エニカカレッジ「これからの教師像」

2005 年度から「教師になりたい者、集まれ！ 採用試験の準備は大丈夫？」というキャッチフレーズで実施。大学で学んだ成果を、直接次の世代に伝える「教師」という職に就こうと願う学生を対象に、広島県教育委員会および広島市教育委員会の協力を得て、教師に必要なとされる資質の向上につながる講座を開設。

開催年度	日	講座	講座名	申込数
2005 年度 ①	4/24 (日)	第 1	広島県の教員採用試験 ～広島県が求める教師像～	162 人
		第 2	現代の教育改革 ～教育時事に詳しくなる～	
		第 3	教師に必要な法知識 ～教育法規のポイント～	
	4/29 (祝)	第 4	生涯学習時代の教師 ～学校・家庭・地域が連携する教育～	
		第 5	自分の考えをまとめるには ～納得のいく小論文を書くために～	
		第 6	よくわかる授業 ～ここがポイント～（小・中・高）	
2005 年度 ②	2/18 (土)	第 1	広島県が求める教師像～教員志望のみなさんへ	93 人
		第 2	教師に必要な資質 ～採用・養成・研修の実情、採用後数年の教員に聴く	
		第 3	生活指導・学級運営の実践～その課題と対応～	
	2/25 (日)	第 4	生涯学習時代の教師 ～学校・家庭・地域が連携する教育～	
		第 5	現代の教育改革 ～教育時事、答申に詳しくなる～	
		第 6	よくわかる授業 ～ここがポイント～	
2006 年度	12/16 (土)	第 1	広島県が求める教師像～教員志望のみなさんへ	49 人
		第 2	教師に必要な資質 ～子ども理解、児童・生徒指導の観点から～	
	12/17 (日)	第 3	よくわかる授業 ～ここがポイント～	
		第 4	私立学校の教職員～特色ある教育と採用～	
		第 5	現代の教育改革とこれからの教師像	
		第 6	教員採用試験に向かって ～私の準備期間～	
2007 年度	11/11 (日)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	45 人
		第 2	教育をめぐる法律解説 ～教育基本法、学校教育法、教育職員免許法等の改正をうけて～	
		第 3	教員採用試験とは～私の体験～	
	11/23 (祝)	第 4	私立学校の教職員～特色ある教育と採用～	
		第 5	教育実習に向かって ～学校現場から見る教育実習生～	
		第 6	よくわかる授業 ～小・中・高、ここがポイント～	

開催年度	日	講座	講座名	申込数
2008 年度	6/28 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	34 人
		第 2	学校現場から見る教育実習生 ～こんな場面であなたはどうする～	
		第 3	教育をめぐる最新事情 ～教育基本法、教育 3 法、学習指導要領改正を受けて～	
	6/29 (日)	第 4	これからの教師に求められる資質・能力 ～学校現場は変わった～	
		第 5	私の勉強法 ～教員採用試験合格への道～	
		第 6	よくわかる授業～授業力向上のためのヒント～	
2009 年度	12/12 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	133 人
		第 2	よくわかる授業 ～授業力向上のためのヒント～	
	12/13 (日)	第 3	教育をめぐる最新事情 ～教育法規・学習指導要領～	
		第 4	学校現場の実情 ～こんな場面であなたはどうする～	
		第 5	私の勉強法 ～教員採用試験合格への道～	
2010 年度	12/18 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	126 人
		第 2	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
	12/19 (日)	第 3	教育をめぐる最新事情 ～新たな教育課題への対応～	
		第 4	学校現場の実情 ～子どもたちのメンタル面のケア～	
		第 5	“ 私はどうしても教師になりたい！” ～理想の教師像と実情、勉強法～	
2011 年度	12/18 (日)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	92 人
		第 2	現代の教育・学校の改革動向～教育の「仕組み」の中にある問題や課題～	
		第 3	ワークショップ ～困難な時代に立ち向かう教師のためのコミュニケーションスキル～	
		第 4	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2012 年度	12/16 (日)	第 1	広島県がめざす教育と教師像	98 人
		第 2	教育・学校の現代的課題 ～カウンセリングマインドの育成～	
		第 3	ワークショップ ～困難な時代に立ち向かう教師のためのコミュニケーションスキル～	
		第 4	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2013 年度	2/15 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	84 人
		第 2	P A (プロジェクト・アドベンチャー) で学校を活性化	
		第 3	児童・生徒、保護者への対応術	
	2/16 (日)	第 4	言語活動の学校への展開	
		第 5	新聞を授業の友に～楽しい活用法～	
		第 6	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2014 年度	12/13 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	58 人
		第 2	学級づくりのための集団指導	
		第 3	支援を必要とする児童・生徒とその保護者への相談対応	
	12/14 (日)	第 4	現代の教育・学校の改革動向	
		第 5	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2015 年度	2/13 (土)	第 1	広島県の教員採用試験～広島県が求める教師像～	119 人
		第 2	SAF プログラムで学校を活性化	
		第 3	スクールソーシャルワーカーの役割と課題 ～困難な環境にある子どもを「チーム学校」で支える～	
	2/14 (日)	第 4	新聞を授業の友に ～楽しい活用法～	
		第 5	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2016 年度	2/18 (土)	第 1	広島県が求める教師像	166 人
		第 2	これから先生を目指すみなさんへ ―先輩からのメッセージ―	
		第 3	多様化する子どもへの理解と接し方～	
	2/19 (日)	第 4	学習指導要領改訂の動向 ～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～	
		第 5	よくわかる授業 ～授業力アップのヒント～	
2017 年度	2/17 (土)	第 1	求められている教師像	141 人
		第 2	「ことばへの気づき」から始まるアクティブ・ラーニング	
		第 3	教師として大切にしていること ―先輩からのエール―	
	2/18 (日)	第 4	子どもをどう理解し関わればよいか ―特別支援教育の視点から―	
		第 5	現場での授業づくりと学習指導のヒント	

Ⅳ. 高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的として 2002 年から開始。

提供科目は公開授業（大学の正規の科目）と公開講座（高校生のために特別に企画された講座）から構成されている。また、2007 年度からは大学入学後に単位が認定される科目等履修制度も実施。

（１）経緯

2002 年 3 月に 広島県下 152 高校が参加して高大連携協定を締結。

2002 年 4 月から 広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。

2003 年度から 広島大学付属高校と高大連携協定を締結し 53 校となる。

2005 年度から 岩国地区の高校と高大連携協定を締結し 157 校となる。二次募集の開始。高大連携委員会の設置、高大連携研究交流会の開催、三原尾道地区で高大連携公開講座を開講。

2006 年 7 月 三次地区で中高大連携公開講座を開講。

2006 年 11 月 呉市立呉高等学校「公開授業研究」参観。

2006 年度から 広島市立高等学校「公開授業研究」参観。

2007 年度から 13 大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。

2007 年 7 月から 備北地区 3 高校で中高大連携公開講座を開講。

2008 年 10 月から 文部科学省平成 20 年度「戦略的大学連携支援事業」採択（2008 年 10～2011 年 3 月）「高大連携による過疎地域の人材育成」事業を開始。

2009 年 7 月から 備北地区 4 高校で中高大連携公開講座を開講。

公開講座 A「大学入門」公開講座 B「大学で学ぼう」、高大連携遠隔授業を開講。

2011 年 4 月から 備北地区 3 高校で中高大連携公開講座、2 高校で高大連携遠隔授業継続実施。

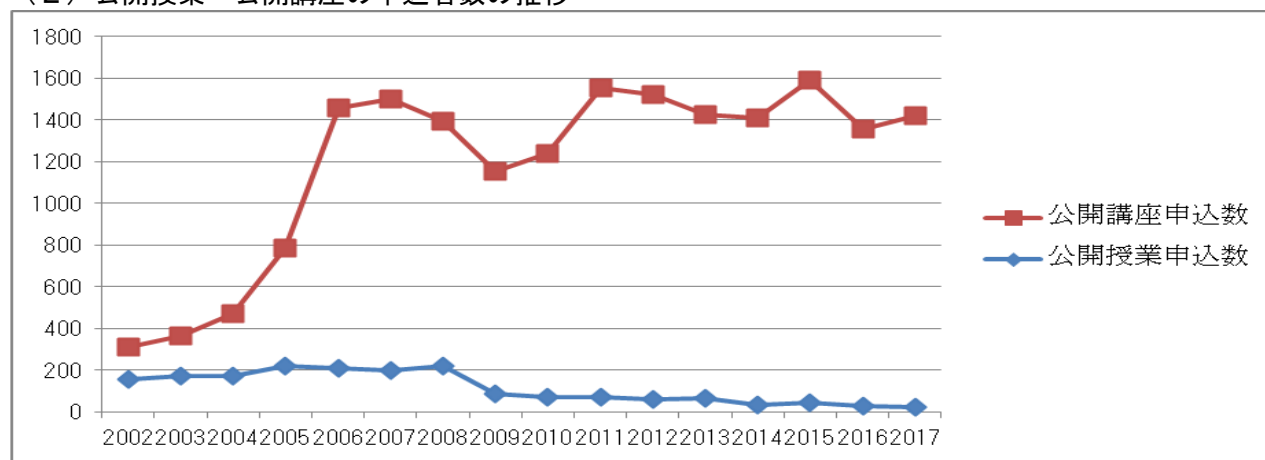
2014 年 7 月 サテライトキャンパスひろしまを会場に「大学フェアひろしま」（～2015 年度）を開催。

2014 年 12 月 広島県教育委員会と高大連携協定を締結。（新協定書）

2015 年 12 月 広島大学附属福山高校と高大連携協定を締結。

2016 年 12 月 岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定を締結。

（２）公開授業・公開講座の申込者数の推移



（３）中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

2007 年度より毎年 7 月に中山間地域（三次地区・庄原地区・安芸高田地区）の担当高校を会場として 1 コマ 50 分の人文・社会・自然・複合の 4 分野から構成した出前講座を実施。その中には中学生も受講できる講座や大学卒業後の進路講座も開講。また、三次会場では高校生と保護者を対象とした会員校の学長等による講演会も実施。

この講座は中山間地域であり過疎地域に指定されている広島県三次市、庄原市、安芸高田市にある高校の人材育成のため、より高度な学習機会を提供し、大学進学意欲を向上させ、将来地元に戻って働く意識を涵養し、魅力ある高校づくりに貢献することを目的としている。

中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」科目数と受講者数

開講年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
受講者数	136	281	1,302	1,522	1,564	1,390	1,214	1,393	1,469	1,423	1,255	1,283	1,320
科目数	9	15	56	58	63	59	56	56	54	58	59	58	62
会場高校	三原尾道	三次	三次庄原格致吉田	三次庄原実業向原	三次庄原格致吉田 日影館	三次庄原実業向原 日影館	三次庄原格致吉田	三次庄原実業向原	三次庄原格致吉田	三次庄原実業向原	三次庄原格致吉田	三次庄原実業向原	三次庄原実業向原

三次高校で実施している保護者・高校 2 年生を対象とした講演会は受講者数の総計に含んでいない。

(4) 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」講演会（保護者・高校生）

開催年度	高校名	講演者	演 題
2009 年度	三次高校	広島大学 学長 浅原 利正	大学で学ぶという事
	庄原格致高校	比治山大学・同短期大学部 学長 高橋 超	「若者にとって大学とは」～大学で身につく人間力～
2010 年度	三次高校	広島放送(株) 専務取締役 新宅 富士夫 氏	テレビ番組「夢の通り道」に見る県内の優良企業
	向原高校	放送大学広島学習センター所長 二宮 皓氏	思い出に残る学校
	庄原実業高校	(株) 合同総研 代表取締役 副社長・税理士 篠原敦子氏	受信力がものをいう
2011 年度	三次高校	エリザベト音楽大学 学長 川野 祐二	大学で学ぶ意味
2012 年度	三次高校	広島国際大学 学長 秋山 實利	「大学の学びとその先」－ひととともに－
2013 年度	三次高校	広島経済大学 学長 前川 功一	大学と社会
2014 年度	三次高校	安田女子大学・同短期大学 学長 瀬山 敏雄	大学で何を学ぶか
2015 年度	三次高校	広島修道大学・鈴峯女子短期大学 学長 市川 太一	地球的視野を持って地域社会の発展に貢献する
2016 年度	三次高校	広島女学院大学 学長 湊 晶子	大学は人生の土台をつくる場
2017 年度	三次高校	広島工業大学 学長 鶴 衛	大学で何を学ぶか～「専門力」と「人間力」～

(5) 高大連携遠隔授業

文部科学省の戦略的大学連携支援事業の採択（2008 年度から 10 年度）を契機にして、より高度な学習機会の提供を目的とし、IT 技術を利用した遠隔授業を実施。

インターネットを利用することで、普段、高校生が受けることのできない大学の授業を「遠隔授業」として提供。

実施大学：広島経済大学・広島修道大学／参加高校：三次高等学校・庄原格致高校

2016 年度	高校名	大学名	講座名	延べ受講者数
前期	三次高校	広島経済大学	スポーツを活用した街づくり	16 人
	庄原格致高校	広島修道大学	「これからの私たちが使うエネルギーは」	44 人
後期	三次高校	広島修道大学	国際政治の課題 一人ひとりの安全をどう守るのか？	22 人
	庄原格致高校	広島経済大学	目指せ！ミライのデータサイエンティスト	27 人

2017 年度	高校名	大学名	講座名	延べ受講者数
前期	三次高校	広島修道大学	英語の諸相	22 人
	庄原格致高校	広島経済大学	目指せ！ミライのデータサイエンティスト	10 人
後期	三次高校	広島経済大学	世界ではばたく日本のメディアビジネス	39 人
	庄原格致高校	広島修道大学	Some Secrets of Learning Foreign Languages －Different Mindsets, Different Paths－	40 人

(6) 「大学フェアひろしま」の開催

2014 年度

開 催 日：2014 年 7 月 12 日（土）

開催場所：サテライトキャンパスひろしま

延べ来場者：44 人（1 年 5 人、3 年生 13 人、回答なし 6 人、教員 2 人、保護者 18 人）

参加大学：大学の講義および大学生による大学紹介（受講者数 28 人） 11 大学

大学別相談コーナー（着席延べ人数 43 人） 14 大学・カタリバ!!（大学生 5 人、高校生 4 人） 3 大学

2015 年度

開 催 日：2015 年 6 月 27 日（土） ※広島県主催行事同時開催（220 人参加）

開催場所：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町 1 丁目 5-3 広島県民文化センター）

参加者数：29 校 103 人延べ 174 人・保護者 31 人

（1 年 4 人、2 年生 13 人、3 年生 77 人、4 年生 2 人、回答なし 6 人、教員 1 人）

参加大学：県内大学・短期大学の講義および大学生による大学紹介 18 校

（７）高大連携研究交流会

2005 年度より、高等学校と大学の連携を促進する研究会と情報交換会を開催。

2005 年度 11/14（43 人参加）

- ・教育ネットワーク中国の現状と高大連携事業について
- ・大学・高等学校からの報告

2006 年度 11/13（44 人参加）

- ・中高大連携公開講座（三次）について
- ・大学生による学校支援活動について

2007 年度 11/13（38 人参加）

- ・中高大連携公開講座（備北地区公開講座）—庄原会場の事例報告
- ・高大連携公開授業・公開講座についての状況報告—進学率との係わり
- ・高大連携公開講座を受講した生徒の状況等について

2008 年度 11/18（28 人参加）※戦略的大学連携支援事業「高大連携による過疎地域の人材育成」説明会

- ・中高大連携公開講座を実施して一評価できる点と今後の課題
- ・今後の課題について

2009 年度 9/26（70 人参加）※戦略的大学連携支援事業「遠隔授業」説明会

- ・備北地区の高校と 4 大学の連携による遠隔授業の試み

2010 年度 12/3（29 人参加）

- ・中山間地域の次世代を担う人材育成について
- ・教育ネットワーク中国との連携について—高大連携の充実を目指して—（連携の現状と今後の展望）
- ・中山間地域の高校を対象とした遠隔授業の実施報告

2011 年度 12/16（22 人参加）

- ・中高大連携公開講座（備北地区）の状況報告
- ・高大連携公開授業・公開講座への参加の取り組みと今後の課題
- ・高大連携公開授業科目等履修生制度の現状と課題

2012 年度 9/4（56 人参加）※研修委員会との共催

- ・広島県のキャリア教育の概況
- ・高等学校におけるキャリア教育（進路指導）—国際化・情報化社会を生き抜くための資質・能力の育成をめざして—
- ・大学のキャリア教育、就職支援の現状

2013 年度 12/11（59 人参加）

- ・高大連携をグローバルな見地で考える—国立、放送、私立大学の運営に携わって—
- ・広島県における高大連携教育の現状と課題—大学に対する高校現場からの期待—

2015 年度 10/3（180 人参加）※研修委員会との共催

- ・高大接続改革について
- ・広島版『学びの変革』アクション・プランと高校教育の改革

2016 年度 3/3（207 人参加）※研修委員会との共催

- 「アクティブ・ラーニングと高大接続」
- ・高等学校におけるアクティブ・ラーニングと高大接続改革
- ・アクティブ・ラーニングを通じた人材育成の課題
 - ①アクティブ・ラーニングを中心に据えた教育改革の取組
 - ②ルーブリック教育がアクティブ・ラーナー養成に如何に効果的か

2017 年度 3/8（186 人参加）※研修委員会との共催

- 「アクティブ・ラーナー育成の課題と展望～高大接続時代を迎えて～」
- ・高大接続改革とアクティブ・ラーニング～その背景と今後の方向性について～
- ・平成 29 年度県立広島大学ファカルティ・ディベロPPER 成果報告
 - ①グループ 1「組織的教育改善」
 - ②グループ 2「アクティブ・ラーニングの実践と普及」
 - ③グループ 3「学修成果の把握」
 - ④グループ 4「学修支援アドバイザーとの協働」

V. 地域社会との連携事業

(1) 経緯

1999 年度

第 11 回全国生涯学習フェスティバル生涯学習見本市会場において「カレッジ・フェア」を開催。

2000 年度

マツダ財団寄付講座「人間科学特論演習 03(ボランティア活動)」(広島修道大学)を開始。

2002 年度

広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業」を委託(～2003 年度)。

東広島市教育委員会「社会人のための大学活用フェア」を後援。

2003 年度

日本学術会議地域振興/中国・四国地区フォーラム「都市と農山漁村のパートナーシップ」を共催。

広島市まちづくり市民交流プラザ、ラーニングネットひろしま主催「社会人のための大学活用フェア」を後援。

2004 年度

第 1 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当。

広島県教育委員会寄付講座「ボランティア参画論」(広島経済大学単位互換提供科目)を開始(～2008 年度)。

全国産業教育フェア広島大会において高大連携イベント協力。

広島県教育委員会から「青年地域貢献活動促進事業調査」依頼開始。

広島市まちづくり市民交流プラザ、広島市教育委員会、ラーニングネットひろしま主催「社会人のための大学活用フェア」を後援。

2005 年度

第 2 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当。

次世代育成事業委託(広島ガス)を開始(～2007 年度)。

中国新聞・朝日新聞合同就職ガイダンス後援。

独立行政法人日本学生支援機構広島支部「平成 17 年度『学生を育てる』視点からの学生支援事業学生対応研修会」後援。

全国家庭教育フォーラム広島県実行委員会主催「全国家庭教育フォーラム IN 広島」後援。

2006 年度

第 3 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「小中高大連携」分科会担当。

青年地域貢献活動「やる気じゃネット!青春じゃけん」実践交流会を広島県教育委員会と共催。

2007 年度

第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「連携の意義を問う」を全国大学コンソーシアム協議会との共催で開催(会場:広島修道大学)。

広島県生涯学習審議会委員(2007 年 8 月 12 日～2009 年 8 月 11 日)を推薦。

2008 年度

第 5 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営について」分科会担当。

2009 年度

第 6 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムの組織運営」分科会担当。

広島県生涯学習審議会委員(2009 年 8 月 12 日～2011 年 8 月 11 日)を推薦。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 6 大学 10 グループを採択。

2010 年度

第 7 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「高大連携」分科会担当。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 4 大学 7 グループ採択。

国際交流基金日本センター助成金プロジェクトへ協力。

2011 年度

第 8 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「大学間連携によって進める F D ・ S D の実効化」分科会担当。

広島県生涯学習審議会委員(2011 年 8 月 12 日～2013 年 8 月 11 日)を推薦。

広島県大学コンソーシアム支援事業「地域課題研究支援事業」に 4 大学 9 グループ採択。

広島県新しい公共支援事業「NPO と大学の連携推進シンポジウム」を後援。

2012 年度

第 9 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「大学コンソーシアムのマネジメント」分科会担当。

2013 年度

第 10 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムは行政との連携をどのようにつくるのか」分科会担当。

広島県生涯学習審議会委員（2013 年 8 月 12 日～2015 年 8 月 11 日）を推薦。

FOURWINDS 乳幼児精神保健学会第 16 回学術集会広島大会を後援。

日本司法支援センター（法テラス）、法務省、文部科学省、最高裁判所、日本弁護士連合会、広島弁護士会主催の平成 25 年度法教育セミナー in 広島を後援。

広島女学院大学「高等教育機関における障がい学生支援」シンポジウムを後援。

2014 年度

第 11 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「コンソーシアムと企業の連携～IC カードとキャンパスリポーターによる地域活性化」分科会担当。

ふじのくに地域・大学コンソーシアム（8/18）高大連携、大学間連携等事業の視察受入。

大学コンソーシアムひょうご神戸（11/17）一般社団法人化、高大連携事業等の視察受入。

2015 年度

第 12 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「教育委員会と大学コンソーシアムとの連携」分科会担当。

大学競宴！シャレオ大学生コンサート開催。（第 1 回 8/7）

「科学と技術図書フェア 2015」を後援。

広島県生涯学習審議会委員（2015 年 8 月 12 日～2017 年 8 月 11 日）を推薦。

比治山大学・比治山大学短期大学部平成 27 年度 AP 第 1 回セミナー「アクティブ・ラーニング実践編」を後援。

比治山大学・比治山大学短期大学部平成 27 年度 AP 第 2 回セミナー「アクティブ・ラーニング取組と課題」を後援。

2016 年度

第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム「大学連携によるグローバル人材育成」を全国大学コンソーシアム協議会との共催で開催（会場：エリザベト音楽大学・広島国際大学広島キャンパス）。

大学競宴！シャレオ大学生コンサート開催。（第 2 回 5/20・第 3 回 11/25）

アカデミア・コンソーシアムふくしま（6/23）高大連携、大学間連携等事業の視察受入。

比治山大学・比治山大学短期大学部平成 28 年度 AP 第 1 回セミナー「協同学習による授業づくりーアクティブ・ラーニングを中心にー」を後援。

比治山大学研究助成「不動産と安国寺恵瓊」に関する研究」公開講演会を後援。

2017 年度

大学競宴！シャレオ大学生コンサート開催。（第 4 回 5/26・第 5 回 11/24）

広島県生涯学習審議会委員（2017 年 8 月 12 日～2019 年 8 月 11 日）を推薦。

比治山大学研究助成「不動産と安国寺恵瓊」に関する研究」公開講演会「恵瓊の妙計 蔚山の戦いと毛利氏」を後援。

「パセーラ 大学生によるファミリーコンサート」（8/27）の出演者募集に協力。

（２）ひろしま地域カード連携コンソーシアム

2012 年 4 月 6 日、広島県内で IC カードをはじめとした各種カードの利用促進やサービスの拡充を図るため、共同で課題解決に取り組むことを目的とした「ひろしま地域カード連携コンソーシアム」を中国新聞社、PASPY 協議会、広島銀行と共に設立。広島県内における学生証の利活用や、IC カードをはじめとした各種サービスの創造、システムの共通基盤の整備、地元企業・団体との連携強化を図るなど、カード連携による地域活性化に資する活動を行っている。

・幹事会（毎月 1 回）の開催

・勉強会の開催

	日時	勉強会の開催（テーマ）	参加者数
第 1 回	2013. 5. 7（火）	「電子マネーに関する『資金決済法』と『具体的な導入事例』について	86 人
第 2 回	2013. 6. 24（月）	「電子マネーの『具体的な導入事例』について	60 人
第 3 回	2013. 11. 14（木）	「ビッグデータ活用における情報収集について～地域スマートフォンアプリポータル活用～」 「ビッグデータ時代に必用となるマイニング技術の紹介」	40 人
第 4 回	2014. 4. 25（金）	第 1 部 大学の課題解決に向けた IC カードの活用 第 2 部①総務省 ICT 街づくり推進事業受託事例紹介 ②健康分野における IC カードの活用構想	86 人
第 5 回	2015. 6. 24（水）	広島県に於ける「電子マネー方式プレミアム付き商品券」の実施 広島県に於ける「電子マネー方式プレミアム付き商品券」の事業内容	90 人
第 6 回	2017. 7. 28（金）	第 1 部 「IC カードで広がる、キャンパスライフのイノベーション」 第 2 部 「IC 機能付学生証導入に係る市街地の“にぎわい”創出について」	70 人

(3) 中国新聞キャンパスリポーター

本制度は2008年10月よりスタートしました。研修を受けた学生リポーターが所属する大学のニュースや話題を原稿にして、写真とともに中国新聞社に投稿したものが、同紙の紙面「キャンパスリポーター発」（毎週月曜日）およびウェブサイトに掲載。大学の様々な出来事に関心をもち、取材し、記事にすることを通じて、学生の社会性や表現力等のスキルアップを図ることを目的としている。また、大学に対する市民の関心を高めることも期待される。

登録年度	中国新聞キャンパスリポーター新規登録者	合計
2009 年度	エリザベト音楽大学7人、海上保安大学校5人、県立広島大学5人、鈴峯女子短期大学10人、比治山大学6人、広島経済大学1人、広島工業大学7人、広島国際学院大学2人、広島国際大学2人、広島修道大学19人、広島女学院大学7人、広島市立大学12人、広島大学24人、広島文化学園大学6人、広島文化学園短期大学2人、広島文教女子大学6人、安田女子大学11人、島根県立大学3人	135 人
2010 年度	エリザベト音楽大学5人、県立広島大学6人、鈴峯女子短期大学6人、広島工業大学7人、広島国際大学4人、広島修道大学9人、広島女学院大学4人、広島市立大学6人、広島大学16人、広島文化学園大学9人、広島文化学園短期大学1人、安田女子大学2人、島根県立大学4人、広島都市学園大学1人	80 人
2011 年度	エリザベト音楽大学1人、比治山大学6人、広島工業大学12人、広島国際学院大学14人、広島国際大学1人、広島修道大学6人、広島女学院大学4人、広島市立大学2人、広島大学20人、広島文化学園大学6人、安田女子大学9人、島根県立大学1人、	82 人
2012 年度	エリザベト音楽大学3人、海上保安大学校4人、県立広島大学5人、鈴峯女子短期大学3人、比治山大学8人、広島経済大学9人、広島工業大学5人、広島修道大学8人、広島市立大学1人、広島大学11人、広島文化学園大学5人、広島文化学園短期大学1人、呉工業高等専門学校1人、島根県立大学2人	66 人
2013 年度	エリザベト音楽大学3人、近畿大学工学部1人、県立広島大学6人、比治山大学1人、広島経済大学5人、広島工業大学5人、広島国際大学6人、広島修道大学6人、広島女学院大学7人、広島市立大学4人、広島大学7人、広島文化学園大学2人、広島文教女子大学4人、安田女子大学2人、安田女子短期大学1人、島根県立大学1人	61 人
2014 年度	県立広島大学3人、比治山大学2人、比治山大学短期大学部3人、広島経済大学2人、広島工業大学6人、広島国際学院大学6人、広島修道大学10人、広島女学院大学7人、広島市立大学3人、広島大学3人、広島文化学園大学2人、広島文教女子大学2人、安田女子大学10人	56 人
2015 年度	エリザベト音楽大学4人、県立広島大学2人、鈴峯女子短期大学1人、比治山大学1人、広島経済大学3人、広島工業大学1人、広島修道大学7人、広島女学院大学4人、広島市立大学3人、広島大学3人、広島文化学園大学1人、広島文化学園短期大学1人、広島文教女子大学2人、安田女子大学8人、広島都市学園大学6人、福山平成大学2人	56 人
2016 年度	エリザベト音楽大学2人、県立広島大学2人、広島経済大学2人、広島工業大学1人、広島国際大学2人、広島修道大学2人、広島市立大学1人、広島大学2人、広島文化学園大学9人、広島文教女子大学2人、安田女子大学7人	32 人
2017 年度	エリザベト音楽大学1人、県立広島大学12人、比治山大学3人、広島経済大学5人、広島国際大学4人、広島修道大学7人、広島女学院大学1人、広島市立大学2人、広島大学5人、広島文化学園大学8人、広島文化学園短期大学1人、広島文教女子大学1人、安田女子大学7人、安田女子短期大学1人、広島都市学園大学4人、福山大学6人、福山平成大学1人	69 人

①中国新聞キャンパスリポーター研修会・交流会（年3回実施）

主な内容：キャンパスリポーター制度の説明、写真の撮り方講座、取材の方法、書き方講座、インタビュー練習

②キャンパスリポーター発（毎週月曜日掲載）

③キャンパスリポーターが聞く（第4日曜日掲載）

④中国新聞キャンパスリポーター賞（最優秀賞、奨励賞、優秀賞）表彰式（2月）

⑤学生リポーター企画研修会の開催

- ・「新聞を10倍楽しむ」ワークショップ 2016.1.23（土）6大学11人参加
- ・「スタートダッシュを成功させるために」ワークショップ 2016.12.10（土）5大学9人参加

(4) ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」

5月3日、平和の祭典であるひろしまフラワーフェスティバル「花の総合パレード」の「折りづるみこし連」に参加。

参加年度	参加者数	合計
2011 年度	比治山大学1人、広島工業大学9人、広島国際学院大学2人、広島国際大学2人、広島修道大学4人、広島女学院大学2人、広島市立大学2人、広島大学2人、日本赤十字広島看護大学2人、安田女子大学6人	32 人
2012 年度	広島工業大学3人、広島修道大学（うち、留学生2人）3人、安田女子大学4人	15 人
2013 年度	広島工業大学2人、広島修道大学（うち、留学生4人）5人、安田女子大学4人	11 人
2014 年度	近畿大学工学部1人、広島工業大学1人、広島国際大学1人、広島修道大学（うち留学生13人）17人、安田女子大学9人	29 人

2015 年度	近畿大学工学部 32 人、広島国際大学 2 人、広島修道大学（うち、留学生 12 人）37 人、 広島大学 2 人、広島文化学園大学 2 人、安田女子大学 14 人	89 人
2016 年度	広島修道大学（うち、留学生 11 人）26 人、広島都市学園大学（うち、教職員 2 人）10 人 安田女子大学 13 人	49 人
2017 年度	広島工業大学 1 人、広島修道大学 41 人（うち、留学生 18 人）、広島文教女子大学 2 人、安田 女子大学 16 人	60 人

（５）大学競宴！シャレオ大学生コンサート

2015 年度「広島の大学生の歌声や演奏で、広島の街を盛り上げたい」、未来を担う若者（大学生）が中心となり、歌と演奏で“ひと”と“まち”を元気にすることを目的として、広島市中心部「シャレオの中央広場」を会場に開催。

会場：シャレオ中央広場（広島県広島市中区基町地下街 100 号）

	日時	出演校（出演順）
第 1 回	2015 年 8 月 7 日（金） 17:30～20:00	安田女子大学・同短期大学、広島国際大学、広島文化学園大学・同短期大学、 広島文教女子大学、エリザベト音楽大学
第 2 回	2016 年 5 月 20 日（金） 16:30～19:30	エリザベト音楽大学、安田女子大学・同短期大学、広島文化学園大学、 広島経済大学、広島修道大学、広島文教女子大学、広島国際大学、広島大学
第 3 回	2016 年 11 月 25 日（金） 16:30～19:20	エリザベト音楽大学、広島女学院大学、広島文教女子大学、広島文化学園大学、 広島修道大学、広島国際大学、安田女子大学・同短期大学
第 4 回	2017 年 5 月 26 日（金） 16:30～19:20	エリザベト音楽大学、広島女学院大学、広島文教女子大学、 広島文化学園大学・同短期大学、広島修道大学、広島大学、 安田女子大学・同短期大学
第 5 回	2017 年 11 月 24 日（金） 16:30～19:30	広島文教女子大学、エリザベト音楽大学、広島国際大学、広島修道大学、 広島文化学園大学、広島経済大学、広島大学、安田女子大学・同短期大学

VI. 教職員研修会

2006 年度より研修委員会が運営の母体となり、教職員研修会を開催。単独開催の研修会に加え、大学行政管理学会の地区研究会や各大学との共催の研修会なども開催。大学改革に対応した教育力向上に関するテーマおよび組織改革に関連するテーマなど、先進的なものを開催するように心がけている。毎回多数の加盟校の教職員が出席して活発な議論が行われ、近年では初等・中等教育および高等教育機関のいずれにおいてもアクティブ・ラーニングが話題となっている。学生の主体的・対話的で深い学びを実現するために、教職員の関心が高いテーマで多くの研修を開催している。

2006 年度 ※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催

- ①「中小大学論－中小規模大学の人事政策」6/17（71 人参加）
- ②「ユニバーサル段階の大学キャリア教育－新設大学のキャリア支援の取組み」7/15（63 人参加）
- ③「『個』としての大学職員－様々な大学職員論を読み解く」8/5（46 人参加）
- ④「人間力開発を目指して～興動館教育プログラムの取組み」10/7（50 人参加）
- ⑤「教育現場のメンタルヘルス」11/25（40 人参加）
- ⑥「大学マネジメントと学習意欲」12/2（30 人参加）
- ⑦「IC カード学生証の提案と導入事例セミナー」2/7（85 人参加）※HiBiS IC カード利用部会との共催

2007 年度

- ①「認証評価の取組」（事例発表と意見交換）6/30（48 人参加）
- ②「職務の客観化と高度化をめざしたワークショップ」8/4（37 人参加）
- ③「広島県内の大学における IC カード学生証導入事例」8/24（64 人参加）※HiBiS IC カード利用部会との共催
- ④「第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」（シンポジウム「連携の意義を問う」）9/15（52 人参加）
- ⑤「オープンキャンパスに対する評価改善手法の構築とその適用に関する研究－広島工業大学における継続的な改善にむけた取組－」・学生支援 G P「広がれ！学生自立型ピア・コミュニティ－関西大学で育む 21 世紀型学生気質－」12/1（74 人参加）※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催

2008 年度

- ①「国際交流 広島修道大学の国際交流の実情及び今後の展望 —さらなる国際的な交流の促進に向けて—」5/31（38 人参加）
※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ②「FD 研修会 これからの大学教員・職員の在り方 — FD・SD の現状と課題」7/5（71 人参加）
- ③地域連携 戦略的大学連携事業「高大連携による過疎地域の人材育成及び IC カード受講証を活用したひろしまカレッジ」9/27（47 人参加）
- ④実務講座 大学人としての基礎知識 「大学職員の基礎知識」と「大学改革を考える」11/29（69 人参加）

2009 年度

- ①若手職員研修会「大学の歴史・学校法人・大学設置基準ほか」「学校法人会計・補助金制度ほか」

- 「これからの大学ほか」5/23 (59 人参加)
- ②「中長期的な大学教育の在り方について」7/4 (112 人参加)
※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ③FD 研修会①「備北地区の高校と4大学の連携による遠隔授業の試み」(戦略的大学連携支援事業)9/26 (67 人参加)
- ④「大学事務職員の能力発揮と職場環境に関する研究」「SDに関する提言」10/31 (82 人参加)
※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ⑤FD 研修会②「3大学からのFD研修取組事例発表」※広島工業大学との共同開催11/21 (66 人参加)

2010 年度

- ①初任者SD研修『これからの大学職員に期待される役割について』5/22 (64 人参加)
- ②事例発表:「夢チャレンジシート～広島経済大学における新たなキャリア支援～」
事例発表:「大学における社会人の学び直しと就職支援 ～広島修道大学再チャレンジプログラムの試み」
6/19 (79 人参加)※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ③FD 研修会「認証評価」～評価のための評価で終わらせないために～10/9 (29 人参加)
- ④事例発表:「学校法人の経営改革ー学校法人における財政収支改善の工夫ー」
事例発表:「教育改革プロセスの課題と教育力向上方策の実践状況ー第2回「大学における教育力向上に関する調査」の概要ー」11/20 (48 人参加)※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ⑤「基礎学力の向上FD 第1回」～理数科目への学習意欲の向上をめざす取り組み～12/11 (23 人参加)
- ⑥「基礎学力の向上FD 第2回」～学生の学習意欲の向上をめざす授業づくり・言語科目編～2/26 (28 人参加)

2011 年度

- ①初任者SD研修 教育の質保証のための新たな大学間連携をめざして6/11 (69 人参加)
- ②戦略的大学連携支援事業報告会「取組全体の概要」・「高大連携による過疎地域の人材育成」・「ICカードを活用したひろしまカレッジ」7/30 (19 人参加)
- ③明日の大学広報 ～受け手本位のコミュニケーション型広報へ～10/8 (43 人参加)
※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ④新任教員(キャリアの浅い教員対象)研修 「より効果的な授業の構築を考える」10/29 (11 人参加)
- ⑤「基礎学力の向上FD 第3回 基礎学力の向上のためのFD・SD 第3回～学生のキャリア発達をめざすICTを活用した個別指導の試み～」1/28 (35 人参加)
- ⑥「基礎学力の向上FD 第4回 何が学生の学びを促進するのか?～学生に対するアンケートを使って～(ワークショップ)」2/24 (31 人参加)※広島修道大学との共催

2012 年度

- ①初任者SD研修「明日を担う大学職員をめざして」6/9 (66 人参加)
- ②初任者FD研修「より効果的な授業とは何か」6/9 (19 人参加)
- ③大学とさまざまな機関の「連携」について考える(宿泊型研修)8/18～19 (18 人参加)
- ④高校と大学が共に考えるキャリア教育9/4 (56 人参加)※高大連携委員会との共催
- ⑤「基礎学力の向上のためのFD・SD 第5回～初年次教育の試み～」2/9 (42 人参加)
- ⑥「基礎学力の向上のためのFD・SD 第6回～学生参加型の授業改善・大学改善活動の可能性～」3/9 (23 人参加)

2013 年度

- ①初任者SD研修「大学を取り巻く状況と大学連携」6/1 (60 人参加)
- ②初任者FD研修「より効果的な授業を設計するために」6/8 (17 人参加)
- ③「中国新聞キャンパスリポーター制度の意義と活用法」9/28 (32 人参加)
- ④「米国の大学におけるラーニング・アウトカム確立の取り組みー米国調査を踏まえてー」11/9 (27 人参加)
※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ⑤「公開授業による授業改善」12/14 (78 人参加)※広島工業大学との共催
- ⑥教育方法改善のためのFD/SD研修「授業外学修の時間をどう充実させるか」(ワークショップ)2/22 (26 人参加)

2014 年度

- ①初任者SD研修「魅力的な大学を目指して」5/31 (53 人参加)
- ②「ICTを活用した取組の事例報告」8/2 (40 人参加)※ICT活用検討委員会との共催
- ③「大学改革とIR」11/8 (66 人参加)※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ④「学習意欲をひきだすシラバスの書き方」(ワークショップ)11/29 (11 人参加)
- ⑤「広島大学のクォーター制(4学期制)導入について」2/16 (110 人参加)※広島修道大学との共催
- ⑥「大学教育における反転授業の利活用法」3/9 (174 人参加)※広島国際大学との共催

2015 年度

- ①初任者SD研修「理想的な大学～私たちが創る、これからの大学～」5/30 (46 人参加)
- ②「あなたの仕事の先に学生の姿はありますか」6/27 (57 人参加)※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ③「高大接続改革」10/3 (180 人参加)※高大連携研究交流会・大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
- ④「学習成果の向上のためのカリキュラムデザイン」～カリキュラムマップ・ナンバリングの作成にむけて～11/28 (45 人参加)※広島経済大学との共催

- ⑤「学生による学修支援：大学教育における役割を考える」12/24（104人参加）※県立広島大学との共催
 ⑥「深い学びに誘うアクティブ・ラーニングの手法」3/2（158人参加）※広島国際大学との共催

2016 年度

- ①初任者SD研修「これからの大学職員」5/21（50人参加）
 ②「大学設置基準の改正に伴うSDの義務化に向けて」7/23（47人参加）
 ③「これまでの大学IR、これからの大学IR」2/18（51人参加）※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
 ④「アクティブ・ラーニングと高大接続」3/3（207人参加）※県立広島大学・高大連携研究交流会との共催
 ⑤「アクティブ・ラーニングに取り組むために～コミュニケーション能力を引き出す～」3/7（104人）
 ※比治山大学・同短期大学部との共催

2017 年度

- ①初任者SD研修「これからの大学職員」5/20（37人参加）
 ②「大学入試改革とアクティブラーニング」9/2（53人参加）
 ③「アクティブ・ラーニングの効果検証」9/8（91人参加）※比治山大学・同短期大学部との共催
 ④「日本の奨学金制度を考える～経済的支援から中退予防まで～」11/18（26人参加）
 ※大学行政管理学会中国・四国地区研究会との共催
 ⑤「ルーブリックの効果的な活用方法」3/5（121人参加）※比治山大学・同短期大学部との共催
 ⑥「アクティブ・ラーナー育成の課題と展望～高大接続時代を迎えて～」3/8（186人参加）
 ※県立広島大学・高大連携研究交流会との共催

VII. 広島県委託事業

（１）広島県大学コンソーシアム支援事業

①地域課題研修支援事業（2009～2011 年度）

a. 学生グループの調査研究活動

広島県内の各大学が、県民により身近で選ばれる大学となり、大学の魅力向上を図るため、地域団体等の課題の解決を目的として学生のグループ（ゼミ・サークル等）がプロジェクト活動（調査・研究・実施）を行い、その成果を発表。

2009 年度

大学名	グループ名（ゼミ・サークル等）	事業の名称
県立広島大学	広島の食農教育を考える会	食と農を中心に過疎・高齢化した中山間地域の活性化
	県立広島大学 マーケティング研究会	中山間地域（安芸太田町加計地区）における商店街活性化事業： 加計町商工会の町おこしイベント“五サー市”への出店参加
	吉川ゼミ自主研究グループ	子供は広島之宝！目指せ日本一の保育園・幼稚園！
広島経済大学	広島経済大学興動館 「一緒に学ぼう！ディベート プロジェクト」A	子供ディベート大会の実施を通じたコミュニケーション能力の育成
	広島経済大学興動館 「一緒に学ぼう！ディベート プロジェクト」B	安芸太田町立戸河内中学校への出張講座を通じたディベートによる コミュニケーション能力の向上と世代間交流
広島国際大学	地域の母親・父親への子育て支援グループ	「地域の母親（父親）が看護学生に育児を語る」ワークショップ
広島修道大学	広島修道大学神楽研究会	学生による「広島神楽」支援コンソーシアムマンパワーデータベースの構築—
	法学部会社法ゼミナール	「広島における会社企業の『コンプライアンス体制』の研究」—より よきコンプライアンス体制の構築と地域貢献を目指して—
広島大学	広島キャンパスフェスティバル 実行委員会 LiNkx	広島キャンパスフェスティバル' 09～学生・市民・企業・中高生が LiNkを創る～
広島文教女子大学	パパママ応援団ぶんこ	学生による子育て支援活動

2010 年度

大学名	グループ名（ゼミ・サークル等）	事業の名称
県立広島大学	南区の食“風土”を考える会	地域高齢者への元気はつらつ健康支援
	県立広島大学 武藤・吉野ゼミ 有志	交流施設を利用した地域活性化
	ソーシャル・アントレプレナー 研究会	広島大陸～まちおこしの名人探し～
広島経済大学	岡本ゼミナール	広島を学ぶ

広島国際大学	地域社会とつながる SSP 活動	地域とともに育つ「子育て・親育ち」支援
広島修道大学	広島修道大学法学部 会社法ゼミナー	広島における企業の地域貢献に関する研究
	広島修道大学 三浦ゼミ	水辺のオープンカフェの調査・取り組み・方向性の提示

2011 年度

大学名	グループ名（ゼミ・サークル等）	事業の名称
県立広島大学	南区の食“風土”を考える会	みんなの健康フェスタ
	山本努ゼミ（地域調査ゼミナール）	過疎地域住民の医療ニーズと受診行動-過疎・無医地区（広島市佐伯区湯来西地区）の地域生活調査-
	吉川ゼミ自主研究グループ	東北から尾道へ！
	ソーシャルアントレプレナーシップ研究会	高齢者の「生き甲斐」づくりの支援
	フィールド科学を考える会	市民と学生との交流の場作り
	マーケティング研究会	竹原市の地域ブランド育成に関する研究事業
広島国際大学	心理科学部 関口ゼミ	川辺オープンカフェの調査研究
広島修道大学	team Maple Law	もみじまんじゅうと法
広島女学院大学	広島女学院大学芸術文化ゼミ	瀬戸田におけるアートと地域に関する研究

b. 地域の課題調査

広島県内の市や町、商工業関係団体などを対象にして、大学生が取り組むどのような地域の課題があるのか、調査を実施し、次年度以降の参考にした。

2009 年度

団体名	課 題
高陽町商工会	①大型団地（高陽 A・B・C 団地 他周辺団地）の高齢化 ②白木町地区をはじめ過疎地域の老齢化 ③買い物行動が地域外へ流出 ④地域住民約 7 万人の資源ゴミ回収システム構築による雇用創出、資金化できないか？
上下町商工会	地域資源（上下町の歴史）を活用した観光開発
海田町	仕事を失った日系外国人労働者が多数いるが、次の仕事を探す際に日本語の能力が乏しいことが大きなハンディキャップになっており、日本語の能力の向上が必要である。
広島市	広島市は、河川利用の特例措置を活用し、平成 16 年度から京橋川や元安川の河岸緑地において、民間のノウハウや活力を導入した「水辺のオープンカフェ」の社会実験に取り組んでいる。 この社会実験については、平成 22 年度にその効果を検証し本格実施に向けた評価を行う必要がある。 現在、京橋川沿いの河岸緑地では 7 店舗、元安川沿いでは 1 店舗が営業しており、検証や評価に当たっては、カフェ利用者や民間事業者の意向調査等を実施する必要がある。
三次市	①本市が実施している、企業の子育て支援 4 事業の申込が少ない現状である。 どのようにしたら、企業が利用しやすい事業となるのか、どこに問題点があるのか調査、研究が必要と考える。 ②本市が実施している、子育てサポート事業の利用者が年々減少している。 事業内容に改善点があるのか、利用者のニーズに対応できていないのか調査、研究が必要と考える。
東広島市	本市は外国人市民が多いが、就学児童の日本語能力、特に漢字の読み書きに大きな問題を抱えている。夏休み期間中などに、特別講座を開くなどしてケアしたいのだが、市に予算はなく、学校・教育委員会は過重な業務に忙殺されており余力がない。安価かつ効果的な解決策を模索している。
広島市	「人命にかかわる老朽既存建築物の改修～優先順位に関する評価指標の研究」 建築物が適切に維持保全されなかった場合、人命にかかわる事故が起こる可能性が多々ある。こうした事故を未然に防ぎ、また、建築物の長寿命化を図るためには、適切な維持保全を行うとともに、優先度の高いものから効率的に補修・改修工事を行う必要がある。 このため、外壁落下対応など人命保護の観点から、必要な改修工事に向けた優先順位付けを行うための、危険度評価項目と評価指標を定め、効果的・効率的な改善を進めることができないだろうか。

2010 年度

団体名	課 題
安芸太田町	・町では、定住促進を図るため様々な取り組みを行っているが、働く場がないことが大きな課題となっている。このため、特産品の大量生産による雇用を創出し、町内で働き、生活できるようにしたい。そのためには、安芸太田町の気候風土を活かした特産品（ブランド化）の開発及び研究が必要である。 ・高齢化率が 90% を超える地域もあり、また一人世帯も多く、危険な除雪作業を高齢者が行っている。高齢者の負担を軽減するため、都市部からの若者等のボランティアを活用した体制を確立したい。
東広島市	本市は、外国人人口が増加し続けており、さまざまな国際化施策を実施してきました。将来的な計画を立てるに当たり、外国人市民の声を反映させるために、アンケート調査を行い、集計分析が必

	要であるほか、他の先進的な自治体の施策との比較を行う必要があります。
広島市	広島市内の郊外団地等では、居住者の高齢化及び商店街の衰退等により、いわゆる「買い物弱者問題」が顕在化しつつある。 こうした中、この問題の実態を把握するとともに、地域の商店街等による御用聞き・宅配サービス等のビジネスモデルの構築について検討する必要がある。
広島市	広島市には、2か所の無医地区（いずれも佐伯区湯来西地区）がある。これらの地区では、過疎化により、自家用車以外の交通手段が乏しいため、高齢化に伴い、遠方の医療機関への受診が困難になりつつある。今後、高齢化の更なる進展が見込まれる中で、受診機会をいかに確保していくかが課題となっている。 全国的な医師不足等で中山間地域の医療資源が減少傾向にある中、どのような対策が必要なのか、受診状況の実態把握や住民のニーズ調査を行い、対策を講じる必要がある。
尾道市（瀬戸田町）	・尾道市は、御調町・向島町・因島市・瀬戸田町と合併し、活性化に関しては、それぞれの地域の現状（特性・課題）・長期予測等を基に、地域に既にあるもの・特性を活かした個別の施策展開が有効であると判断し、今年度からそれぞれに地域おこし担当職員を配置した。既存のイベントを活性化し交流人口を拡大することはできたが、新たな有効な取り組み、事業展開が不十分であるという状態である。 ・瀬戸田町では、一次・三次産業（農業・観光業等）が低迷し続け、人口減少・少子高齢化が尾道市の中でも一番進行している。産業の活性化に向けて、有効な取り組み、事業展開が不十分であるという課題がある。現在、観光振興（ニューツーリズムの展開・食の開発・地元柑橘のPR等）による交流人口増、消費拡大・起業の促進を検討している。
尾道市	斜面市街地の空家対策 1. 空家対策の必要性 近年、居住者の高齢化、利便施設、店舗の郊外化による車に偏重した生活等により、尾道の景観を形成する斜面市街地が空家、空地により徐々に面影を失っている。 また、古寺めぐりコースなどの観光ルート沿いに空家が目立ち始め、経年後老朽化し、危険住宅となるケースが増えている。そこで、景観維持による観光振興、市街地の防災・防犯性の向上に加え新たに観光ルートに面した老朽化空家が通行者の安全性を脅かすことへの対策としても必要性が高まっている。 2. 空家対策の緊急性 全国の総住宅数は、平成15年の時点で既に総世帯数を大幅に上回っている状況にある。平成20年分住宅土地統計調査によると、空家は全国で757万戸あり、平成15年度と比較して54万戸増えている。今後も人口減少に応じて空家の増加が予測され、有効活用の方からも、大きな課題になっている。尾道市においても、人口は減少に転じており、平成23年には14.4万人と推計されている。特に千光寺山南側に広がる斜面地では、平成13年から平成20年度の間に、空家が43戸増加し、空家率（空家戸数／総戸数）は11.1%から16.3%と5.2ポイント上昇している。 3. 空家対策の課題 建物所有者の維持管理に対する重要性の認識が醸成されていないこととあわせ、建築基準法の規制、割高な維持修繕コストという外部環境が、建物の更新意欲の低下に拍車をかけている。 その結果、建築物の老朽化により、危険住宅が増加し、近隣住民の不安を増長させており、その結果居住意欲が低下し、空家が空家を生む負のスパイラルが生じ始めている。

2011年度

団体名	課 題
広島市市民局文化スポーツ部スポーツ振興課	広島市にはトップス広島に加盟するチームをはじめ、多数のスポーツチームが存在している。こうした中、広島市では、多くの市民に試合会場で地元チームを応援してもらえるように各チームの試合日程等の情報発信などを行い、市民の応援気運の醸成に取り組んでいる。 しかし、アマチュアスポーツについては市民にあまり認知されておらず、観戦者も伸び悩んでいる。今後、どのように情報を発信していけばより多くの市民に会場に行ってもらえるのか、或いはどのような情報を市民が求めているのかなどを調査・研究していく必要がある。
広島市安芸区役所農林課	広島市安芸区では、当区の中山間地域である阿戸町の活性化を図るため、官民の協働組織である「里山あーと村運営協議会」を母体として特産品の開発や人材育成に取り組むこととしているが、この取組に当たり、地域と連携した組織作りや特産品に対する消費者ニーズのリサーチ・販路開拓等の効果的な手法を確立する必要がある。

②「ひろしまの地域学」導入事業（2009～2010年度）

広島県内の各大学が、県民により身近で選ばれる大学となるよう、大学の魅力向上を図るため、地域の魅力や可能性を発掘する「地域学」のコンセプトを用いた特色あるカリキュラムの検討等を行い、その成果を公開講座に反映させるとともに、ひろしまの魅力向上の道を探る。

a. ひろしまカレッジフォーラムの開催

- ・第1回発足記念フォーラム「世界遺産を結ぶ南北の道」2009.5.9（128人参加）
- ・第2回「技術がつなぐ大学と地域」～ICカードを利用した連携の現状と今後～ 2009.9.16（200人参加）
- ・第3回「学生による大学と地域の交流フェスティバル」2010.2.22（64人参加）

- ・第4回「広島におけるＩＣカードを活用した地域連携」2010.10.22（103人参加）
- ・第5回「広島学から学生は何を学んでいるのか～広島を教える 広島を学ぶ～」2010.12.4（53人参加）

b. 広島学情報交換会開催

- ・「広島学の現状と課題」開催 2009.11.28（20人参加）
講演：「広島発！夢の通り道」広島放送株式会社 代表取締役社長 佐藤伊佐雄
- ・「広島学情報交換会—広島学と地域課題研究をどのように結びつけるのか—」開催 2011.2.22（27人参加）
「県立広島大学の宮島学が目指すもの」
「広島工業大学の『宮島・土曜講座』が目指すもの」
「地域学の意義と可能性」

c. 広島学開講状況調査

調査を基に大学の魅力を向上させるため、地域の魅力や可能性を発掘する「地域学」のコンセプトを用いてカリキュラムの検討等を行った。

2009 年度

	大学名	開講学部	科目名
1	近畿大学工学部	工	東広島学
2	県立広島大学	人間文化	地域文化学（宮島学）
3	県立広島大学	全学部	地域の理解
4	県立広島大学	経営情報	経営学特別講義Ⅱ
5	比治山大学・同短期大学部	現代文化・短期大学部	ひろしま学 A
6	比治山大学・同短期大学部	現代文化・短期大学部	ひろしま学 B
7	広島経済大学	経済	広島を学ぶ
8	広島経済大学	経済	広島地域ものづくり事情
9	広島経済大学	経済	プロスポーツによる広島活性化講座
10	広島経済大学	経済	中・四国地域経済・金融事情
11	広島経済大学	経済	グローバル化する広島経済
12	広島経済大学	経済	中・四国地域特別講義（流通・サービス・製造）
13	広島工業大学		瀬戸内学
14	広島国際大学	心理科	平和教育
15	広島修道大学	商	広島学（歴史・産業）
16	広島修道大学	人文	広島学（広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ）
17	広島修道大学	法	広島学（ひろしまと法）
18	広島修道大学	経済科	広島学（広島県の経済構造）
19	広島修道大学	人間環境	広島学（ひろしまの自然環境と景観）
20	広島女学院大学	共通2・3年生前期	ヒロシマ
21	広島市立大学	全学共通系科目	ひろしま論
22	広島市立大学	全学共通系科目	平和と人権 A（ヒロシマと国際平和）
23	広島市立大学	全学共通系科目	広島からの平和学：実践の方法
24	広島市立大学	国際学部	HIROSHIMA and PEACE
25	広島市立大学	国際学研究科	Advanced HIROSHIMA and PEACE
26	広島大学	教養教育	ヒロシマ学
27	広島大学	教養教育	広島大学の歴史
28	広島大学	教養教育	現代ジャーナリズム論
29	広島大学	工	平和都市・建築論
30	広島大学	理	宮島生態学実習
31	広島文化学園大学	看護	広島県地域の時事問題

d. 広島学に関する公開講座開催

2010 年度

■広島大学「広島のことばと文芸」 ぱれっとカレッジ

日時	テーマ	参加者数
9月18日（土）13:30～15:00	明治・大正期の文学者と広島	20人
9月18日（土）15:15～16:45	二人の女性作家—林芙美子と大田洋子	20人
9月25日（土）13:30～15:00	古典和歌に詠まれた安芸・備後	17人
9月25日（土）15:15～16:45	広島藩儒寺田臨川の詩文を読む	17人
10月2日（土）13:30～15:00	凹み文字〈角筆文献〉の言葉—広島県伝存資料の場合—	18人
10月2日（土）15:15～16:45	広島方言	18人

■広島修道大学「地域と神楽」

日時	テーマ	参加者数
10月9日(土) 10:30~12:00	ひろしま神楽の魅力	61人
10月23日(土) 10:30~12:00	RCC早春神楽及び神楽スペシャラー第1回からの総合企画・演出を通してー	48人

■広島経済大学「ヒロシマとオキナワから学ぶこと」講演会と写真展

日時	テーマ	参加者数
11月27日(土) 11:30~12:30	第1回講演会(千代田開発センター)	40人
1月28日(金) 11:45~12:35	第2回講演会(呉市立白岳中学校)	300人

■「広島と移民 ―その歴史と現状―」 エニカカレッジ

日時	テーマ	参加者数
1月22日(土) 13:30~13:40	広島と移民について-趣旨説明-(広島経済大学教授 田中泉)	28人
1月22日(土) 13:40~15:00	「移民県広島」(広島経済大学教授 濱田敏彦)	
1月22日(土) 15:15~16:45	「広島とハワイ移民」(広島大学名誉教授 山代宏道)	
1月29日(土) 13:30~15:00	「広島とアメリカ移民」(広島経済大学教授 田中泉)	30人
1月29日(土) 15:15~16:45	「広島の外国人労働者の現状と課題」(広島国際学院大学准教授 高畑 幸)	

(2)「県外での合同大学説明会における県内大学等情報提供業務」

2012年度、広島県から委託を受け、「県外での合同大学説明会における県内大学等情報提供業務」を実施した。委託契約期間である2012年4月2日から2013年1月31日の間に、業者の開催する進学説明会(5県6会場で開催)に参加し、主として広島県下の大学・短大の概要説明や資料配布等を行った。

開催地	日程	会場名 開催業者	来場者数	ブース 来場者	アンケート 回答数	配布部数
鹿児島 (目標人数) 300人	7/10(火)	鹿児島アリーナ さんぼう	1,160人 ・高校数22 ・生徒1,106 ・教員43 ・保護者11	88人 ・生徒84 ・保護者4	16件	140冊 ・生徒84 ・教員20 ・保護者4 ・資料持ち帰り32
長崎 (目標人数) 400人	7/13(金)	シーハット大村 さんぼう	1,113人 ・高校数20 ・生徒1,062 ・教員51	42人 ・生徒39 ・教員3	9件	75冊 ・生徒39 ・教員6 ・資料持ち帰り30
徳島 (目標人数) 300人	7/18(水)	ホテルクレメン ト徳島 廣告社	343人 ・高校数15 ・生徒163 ・保護者180	3人 ・生徒2 ・保護者1	3件	27冊 ・生徒2 ・保護者1 ・資料持ち帰り24
兵庫 (目標人数) 600人	9/4(火)	生田神社会館 日本ドリコム	220人 ・高校数22 ・生徒198 ・保護者22	5人 ・生徒5	5件	6冊 ・生徒5 ・資料持ち帰り1
大分 (目標人数) 400人	9/20(木)	トキワ会館 日本ドリコム	672人 ・高校数18 ・生徒628 ・教員8 ・保護者32 ・一般4	19人 ・生徒16 ・教員2 ・一般1	5件	41冊 ・生徒16 ・教員2 ・一般1 ・資料持ち帰り22
兵庫 (目標人数) 380人	10/3(水)	ホテル日航姫路 ライセンスアカ デミー	481人 ・高校数17 ・生徒476 ・教員3 ・保護者2	32人 ・生徒29 ・教員3	12件	38冊 ・生徒29 ・教員9
合計			3,989人 ・高校数114 ・生徒3,633 ・教員105 ・保護者247 ・一般4	189人 ・生徒175 ・教員8 ・保護者5 ・一般1	50件	327冊 ・生徒175 ・教員37 ・保護者5 ・一般1 ・資料持ち帰り109

Ⅷ. 戦略的大学連携支援事業

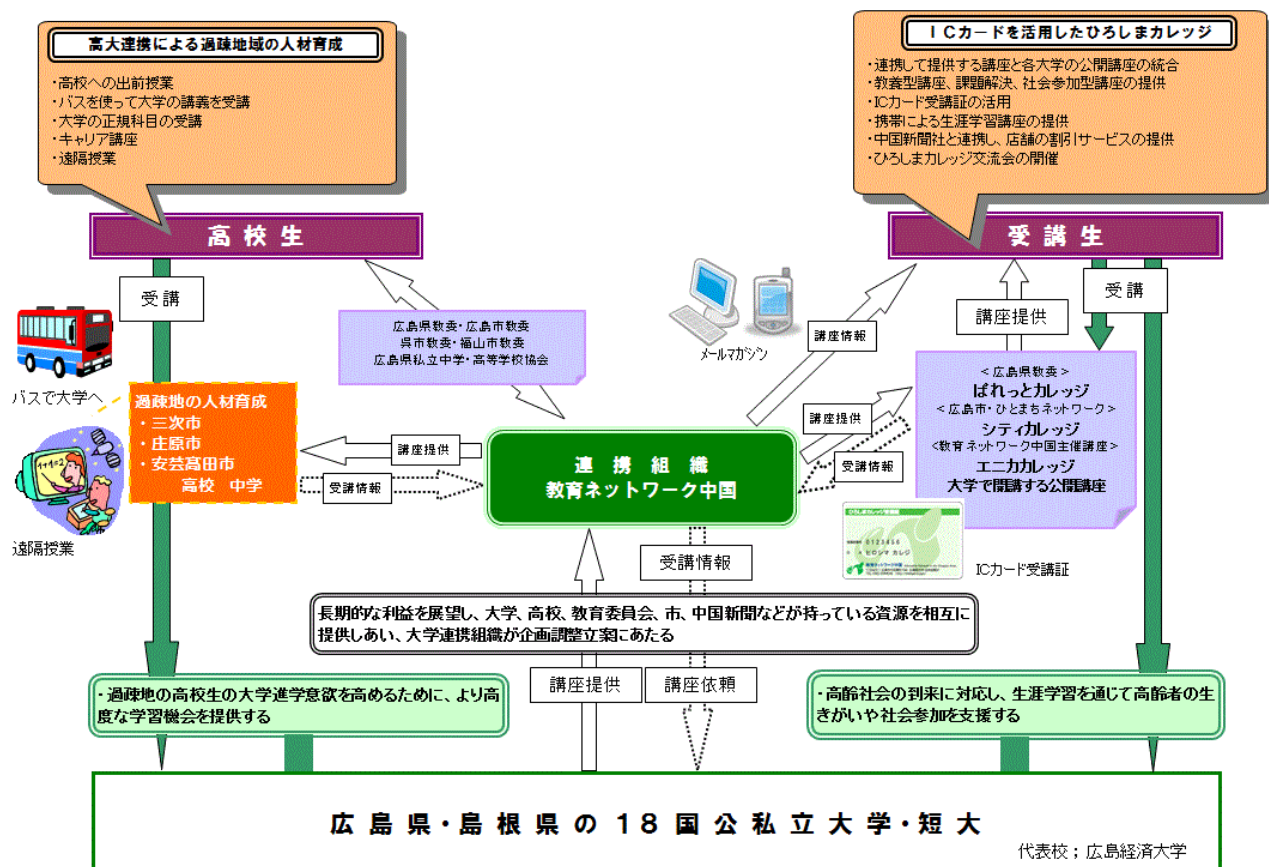
文部科学省 平成 20 年度「戦略的大学連携支援事業」採択（平成 20 年 10 月～平成 23 年 3 月）

高大連携による過疎地域の人材育成及び IC カードを活用したひろしまカレッジ

代表校：広島経済大学

連携校：エリザベト音楽大学、県立広島大学、山陽女子短期大学、鈴峯女子短期大学、比治山大学、
比治山大学短期大学部、広島工業大学、広島国際学院大学、広島国際大学、広島修道大学、広島学院大学、
広島大学、広島文化学園短期大学、広島文教女子大学、安田女子大学、安田女子短期大学、島根県立大学
取組事務局：教育ネットワーク中国

高大連携による過疎地域の人材育成及び IC カードを活用したひろしまカレッジ



プログラム名		内 容	プログラムレベル
過疎地域の人材育成	中高大連携公開講座	「大学で何を学ぶか」 保護者対象講座（新規）	基礎プログラム
	高大連携公開講座	公開講座 A 「大学入門」（新規） 公開講座 B 「大学で学ぼう」 大学へ行こうウィーク（8 月 1 日～10 日） バスの運行（新規）	
	高大連携遠隔授業	遠隔授業（新規）	
	高大連携公開授業	大学へ行こうウィーク（8 月 1 日～10 日）	発展プログラム
	キャリア講座	大学卒業後の進路（新規） 進学・進路相談（新規） 「地域での仕事づくり」ワークショップ（新規） 地域で生きる若者のためのキャリア講座（新規）	
IC カード受講証を活用した ひろしまカレッジ		シティカレッジ・ぱれっとカレッジ（教養型講座）（課題解決、社会参加型講座）（新規） 自大学で開講する公開講座の情報提供（新規） IC カード受講証の活用（新規） ひろしまカレッジ携帯メールマガジン（新規） ちゅーピーくらぶ（中国新聞社）との連携（新規） ひろしまカレッジ交流会の開催（新規）	

IX. 教員免許状更新講習

教員免許状更新講習のうち、「教育の最新事情に関する事項（必修講習、12 時間以上）」に関する講習を共同で開催。

日時：2009（平成 21）年 12 月 26 日（土）、27 日（日）

会場：エリザベト音楽大学（2 号館 506 教室） 40 人受講

時間（1 日目）	区分	講義内容
9:20~9:40 (20 分)	オリエンテーション（教育職員免許法改正と免許状更新講習）	
9:40~10:40 (60 分)	講義①	学校を巡る近年の状況変化
10:50~12:10 (80 分)	講義②	教員としての自分を振り返る－経験を「経験知」に変えるために－
13:00~14:20 (80 分)	講義③	子どもの発達に関する課題、意欲を喚起する学習指導、対人関係、日常的コミュニケーションの重要性について
14:30~15:50 (80 分)	講義④	発達障害を抱える子どもの理解と対応－臨床心理学の視点から－
16:20~17:00 (40 分)	試験①	1 日の総復習としての筆記試験
17:00~17:15 (15 分)	事後評価	アンケート実施

時間（2 日目）	区分	講義内容
9:20~11:00 (100 分)	講義⑤	今日の教育政策を読み解く
11:10~12:10 (60 分)	講義⑥	生徒指導の在り方
13:00~14:00 (60 分)	講義⑦	校内外における子どもの安全確保と危機管理の課題
14:10~15:50 (100 分)	講義⑧	学校内外の連携協力とリスク・マネジメント
16:20~17:00 (40 分)	試験②	1 日の総復習としての筆記試験
17:00~17:15 (15 分)	事後評価	アンケート実施

X. 留学生支援

（１）経緯

地域の活力を向上させるためには海外から優秀な留学生を受入れて定着・活躍させるという広島県の考えに基づいて、教育ネットワーク中国の中に 2011 年 4 月から広島県留学生生活躍支援センターが設置された。事務局は財団法人ひろしま国際センターに置く。これに先立ち、広島県国際課が事務局となり、2010 年 4 月に 34 団体が参加した広島県留学生生活躍支援組織検討会が設けられ事業、会費、事務局の設置などが検討された。センターの運営に必要な経費は大学等と行政（広島県・広島市・東広島市、福山市）がそれぞれ 750 万円を負担する方式を取っている。2011 年度は広島県などから総計約 2100 万円の委託事業を受託。2012 年広島県留学生生活躍支援センターをひろしま国際センターへ移管。

（２）2011 年度、主な留学生支援事業

- ①県内大学等海外共同 P R 広島県留学フェア
- ②留学促進広報資料作成 広報パンフレット、DVD 作成
- ③地域交流 ホームステイ 1 泊 2 日 23 人ホストファミリー 11 家族
- ④民間宿舎情報提供
- ⑤留学生住宅保証
- ⑥体系的就職セミナー開催 入門編:10 月 1 回 44 人 実践編 11 月 3 回 104 人 各 3 会場
- ⑦インターンシップ 8 大学 37 人 受入企業 20 社
- ⑧就職活動個別コンサルタント 26 人
- ⑨留学生活用セミナー開催 6/29 67 人 11/29 56 人
- ⑩留学生合同企業説明会 第 1 回 7/22 38 社 123 人 第 2 回 2/3 31 社 136 人
- ⑪実用日本語研修 8~9 月 6 コマ 3 会場 50 人
- ⑫留学生ウェブサイト開設
- ⑬留学生交流事業 総会・親善スポーツ大会 5/28 242 人

XI. 設置委員会

1998～1999	2000～2001	2002～2003	2004
単位互換・生涯学習検討委会	単位互換・生涯学習検討委会 共同開催講座実行委員会	総合委員会	総合委員会 教学協力委員会 共同事務開発委員会 遠隔授業検討委員会
2005	2006	2007	2008
運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 総合委員会 共同事務開発委員会 遠隔授業検討委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 共同事務開発委員会 遠隔授業検討委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 共同事務開発委員会 遠隔授業検討委員会 研修委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 共同事務開発委員会 遠隔授業検討委員会 研修委員会 IC カード学生証委員会
2009	2010	2011	2012～2013
運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 遠隔授業検討委員会 共同事務開発委員会 研修委員会 IC カード学生証委員会 教員免許状更新講習実施委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 遠隔授業検討委員会 研修委員会 IC カード学生証委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 遠隔授業検討委員会 研修委員会 IC カード学生証委員会 留学生活動支援センター事業推進委員会	運営委員会 教学委員会 高大連携委員会 遠隔授業検討委員会 研修委員会 IC カード学生証委員会
2014～			
運営委員会 大学間・高大連携委員会 研修委員会 ICT 活用検討委員会			

XII. 連携機関

広島県環境県民局大学教育振興担当、広島県教育委員会生涯学習課、広島市市民局生涯学習課、福山市教育委員会、山口県岩国高等学校、山口県高森高等学校、高水高等学校、岡山県立井原高等学校、岡山県立笠岡高等学校、公益財団法人マツダ財団、公益財団法人広島市文化財団ひと・まちネットワーク部、合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）ほか

XIII. 設立から現在まで

- 1997. 10. 07 「協力し連携することによって広島の高高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 04. 01 広島県高等教育機関等連絡協議会発足。
- 11. 27 広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30 の大学・短期大学が参加。
- 1999. 04. 01 単位互換包括協定書の締結。
- 2000. 04. 01 単位互換及び生涯学習事業を開始。
- 2002. 04. 01 財団法人広島県教育事業団から広島県学習機会提供促進協議会に事務局移管。
- 06. 14 広島県高等教育機関協議会と改称。高大連携事業を開始。
- 12. 20 広島県教育委員会「広島県学習機会提供事業」補助金を受託（～2003 年度）。
- 2003. 04. 01 広島県立生涯学習センター「青年のボランティア活動一斉キャンペーン委託事業を受託（～2003 年度）。
- 2004. 04. 01 大学院単位互換事業を始める。海上保安大学の加盟（2014 年 3 月 31 日退会）。
- 10. 01 県立生涯学習センターに「行政財産の使用許可」受ける。
- 11. 27 呉工業高等専門学校加盟、ノートルダム清心女子大学加盟（2011 年 3 月退会）。
- 2005. 04. 01 島根県立大学加盟。
- 07. 01 全国大学コンソーシアム協議会設立。呼びかけ団体となる。
- 教育ネットワーク中国と改称。
- 07. 01 岩国短期大学加盟（2010 年 3 月退会）、広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 10. 01 ヒューマンアカデミーと業務委託契約締結（2006 年 3 月 31 日）。
- 東京リーガルマインドと業務委託契約締結（2006 年 3 月 31 日）。
- 10. 01 LEC 東京リーガルマインド大学広島キャンパス加盟（2008 年 3 月退会）。
- 2006. 04. 01 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 2007. 04. 01 高大連携科目等履修生制度の開始。教育ネットワーク中国創立 10 周年。

06.17	教職員研修会を開始。
06.21	紀伊國屋書店(中四国営業部)、中国新聞社、広島銀行、広島信用金庫が賛助会員として加盟。
06.21	教育ネットワーク中国創立 10 周年記念講演会開催。ロゴマーク選定。
09.15	第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催(会場：広島修道大学)。
2008.02.28	大学生協中国・四国事業連合、広島電鉄、モルテンが賛助会員として加盟。
03.21	中国新聞社と包括的連携協力協定を締結。
06.26	凸版印刷(中四国事業部)が賛助会員として加盟。
08.20	文部科学省「戦略的大学連携支援事業」採択(～2010 年度)。
11.04	進研アド(中・四国支社)、広島商工会議所が賛助会員として加盟。
12.25	事務局を広島県自治会館内に移転。
2009.04.01	日本赤十字広島看護大学加盟。
	南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。
	中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
05.01	広島県「大学コンソーシアム支援事業」(地域課題研究支援事業)補助金を受託(～2011 年度)。
12.26	「教育の最新事情に関する事項(必修講習、12 時間以上)」に関する講習を共同で開催。
2010.04.01	広島都市学園大学加盟。放送大学広島学習センター加盟(2011 年 3 月退会)。
10.13	広島銀行とひろしまカレッジに関する協定書を締結。
	中国新聞社とひろしまカレッジに関する業務協力の確認書を締結。
12.28	IC カード乗車券 PASPY の利用に関する契約書を締結。
2011.03.17	広島県緊急雇用対策基金事業留学生受入・定着促進事業業務契約を締結。
04.01	一般社団法人として登記。広島県留学生生活支援センター設立。
05.21	広島銀行と IC カード利用に関する契約書を締結。
12.05	中電工(広島統括支社)、もみじ銀行、五洋建設(中国支店)、熊平製作所、合同総研、広島リバーサイドホテルが賛助会員として加盟。
2012.01.25	広島市信用組合が賛助会員として加盟。
04.01	広島県留学生生活支援センター事業を公益財団法人ひろしま国際センターへ移管。
	リクルートマーケティングパートナーズ、清水建設(広島支店)、丸善雄松堂(広島支店)、日建設計(中国支所)、大日本印刷(情報イノベーション事業部中四国営業本部)、西日本電信電話(広島支店)、フジタ(広島支店)が賛助会員として加盟。
04.02	広島県「県外での合同大学説明会における県内大学等情報提供委託事業」を受託。
04.06	中国新聞社、PASPY 協議会、広島銀行と「ひろしま地域カード連携コンソーシアム」を設立。
04.10	事務局を広島修道大学インターナショナルハウス内に移転。
2013.03.26	野村證券(広島支店)、コトブキシーティング(中四国支店)、SMBC 日興証券(広島支店法人部法人課)が賛助会員として加盟。
03.29	広島県及び公立大学法人県立広島大学とサテライトキャンパスひろしまの運営協力に係る協定書を締結。
04.01	近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店)、広島管財が賛助会員として加盟。
04.09	広島県民文化センター5 階、6 階に開設されたサテライトキャンパスひろしまに単位互換科目、高大連携公開授業・公開講座、生涯学習講座を提供。
06.10	アボアエンジニアリング、呉信用金庫、中国電設工業が賛助会員として加盟。
09.27	A・I・C 広島マネジメント シェラトングランドホテル広島が賛助会員として加盟。
11.26	ひらた学園 I W A D 環境福祉リハビリ専門学校、オオケンが賛助会員として加盟。
2014.04.01	広島県教育委員会加盟。
	レタープレス、ムロオシステムズ、山菊印刷、ワイテック、むさし、テレビ新広島、広島テレビ放送、広島ガス、広島ホームテレビ、広島マツダ、日本システム技術(GAKUEN 事業部)、中国放送、マイティネットが賛助会員として加盟。
06.18	パナソニック システムソリューションズ ジャパンが賛助会員として加盟。
11.19	アンデルセン・パン生活文化研究所が賛助会員として加盟。
2015.04.01	福山大学、福山平成大学が準会員として加盟。S C S K が賛助会員として加盟。
06.16	廣告社(広島支店)、ゼネラルスチール、三菱地所設計(広島事務所)が賛助会員として加盟。
08.07	大学競宴！シャレオ大学生コンサートを開始。
2016.04.01	尾道市立大学、福山市立大学が準会員として加盟。
	JTB 中国四国(広島支社)、岡村製作所(広島支店)が賛助会員として加盟。
06.20	リーガロイヤルホテル広島が賛助会員として加盟。
09.10	第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催(会場：エリザベト音楽大学・広島国際大学)。
2017.04.01	一般社団法人教育ネットワーク中国創立 20 周年。
	コクヨマーケティング(中国支社)、酔心、田中電機工業が賛助会員として加盟。
06.21	アスティが賛助会員として加盟。
06.29	大方工業所が賛助会員として加盟。(2017 年度現在 62 団体)
12.01	教育ネットワーク中国創立 20 周年記念講演・祝賀会を開催。

〒730-0803
広島市中区広瀬北町 9-3
広島修道大学インターナショナルハウス内

T E L (082) 533-7590
F A X (082) 533-7591
E-mail office@enica.jp
U R L <http://www.enica.jp/>